

# やざ

## 今月の主な内容

- 地域福祉計画町民フォーラム… 2～5 P
- シベリア抑留生活を振り返る …… 6～11 P
- まちの話題 …………… 14 P
- 八頭町体育協会表彰 …………… 16 P



平成24年  
(2012)

# 3月号

No.84



## 雪遊び(たから保育所)

2月20日(月)、たから保育所(門尾地内)の園庭には、雪が30cm以上積もりました。子どもたちは、雪だるまを作ったり、ソリに乗って遊びました。

# 八頭町地域福祉計画町民フォーラム

## 「連携と協働で創り出そう、 誰もが安心して暮らせる地域社会」

八頭町地域福祉計画町民フォーラムが、2月4日（土）八東体育文化センターを会場に開催され、地域福祉計画策定委員会案の概要についての講演や、鳥取県内の先駆的事例によるシンポジウムを通して、参加者約180名がこれからの地域福祉について考えました。

ここでは、シンポジウムの概要をお知らせします。

### (シンポジスト)

- ・日野ボランティアネットワーク代表  
里山元気塾塾長 小谷 博徳さん
- ・琴浦町地域包括支援センター  
主査 藤原 静香さん
- ・地域スーパーあいきょう  
有限会社安達商事  
代表取締役 安達 亨司さん

### (コーディネーター)

- ・鳥取大学地域学部地域政策学科  
准教授 竹川 俊夫さん

竹川 俊夫さん  
・コーディネーター 竹川氏

小谷 博徳さん  
・シンポジスト 小谷氏

藤原 静香さん  
・シンポジスト 藤原氏

安達 亨司さん  
・シンポジスト 安達氏

大学や都市住民等、町外の人々と連携した高齢者の見守り活動や地域づくり活動の推進

### 小谷

日野ボランティアネットの活動のきっかけ  
・鳥取西部地震で全国から来られたボランティアより受けた好意を、次の災害時に先進的なボランティアとしてバトンタッチしていかうとスタートした。

### 活動内容

- ・災害ボランティア：  
災害復旧・復興活動として、屋根のブルーシート張りを、能登の震災と中越の震災へ派遣。  
破損住宅の補修・お話ボランティア等の活動をしている。
- ・福祉ボランティア：  
「お誕生日プレゼント」企画  
町内70歳以上の独居・高齢世帯を対象に、誕生日にお誕生日プレ



小谷 博徳さん

ゼントを届け、安否確認を兼ねて見守り活動につなげる。  
対象者約600人に行っている。

### 活動状況

- ・活動日：毎月第2土曜日
- ・お誕生日カードづくり：  
障がい者との協働作業
- ・プレゼントづくり：  
町内担当グループによる多様なプレゼント品

### 訪問：

日野ボランティアネットワーク  
会員と小・中・高生、障がい者との協働

### 聞き取り：

健康・困りごとなど対話の中で聞き取る。  
昨年訪問時との対比、問題点を共有。  
必要であれば関係機関に情報を提供。

### 活動での苦労

- ・個人情報への壁
- ・活動者の高齢化
- ・教育関係者の参加がない

### 10年間活動できたポイント

- ・会員を地域内に限定せず、県内外の賛同者で構成したこと
- ・プレゼントづくりを自前でせず、町内グループの協力を得られるようになった

- ・小・中・高生、障がい者との協働体制を確立している。
- ・活動事例を参加者すべてが共有することで達成感が得られる。
- ・行政の補助金に頼らず、自主自立の精神を堅持した活動を継続している。

**竹川** 有償か？無償か？

**小谷** 無償。町外のボランティアも子ども達と一緒に見守りを兼ねて高齢者を訪問し、その時の様子を報告してもらい記録に残す。情報を共有することで達成感と充実感に繋がっている。

**竹川** 町内外の連携、子どもから大人への連携、若い人を外から引っ張り込む、学生を福祉のみでなく地域活動へ参加してもらおう視点が新しい。

八頭町でも、鳥取環境大学の学生や小・中・高生・障がい者との協働が参考になるのではないかと。

町ぐるみの徘徊模擬訓練を通じて認知症高齢者にやさしいまちづくりの推進

**藤原** 認知症予防事業の目的

- ・地域住民の認知症に対する偏見を取り除き、正しい理解を促すための普及・啓発を行い、認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で



藤原 静香さん

安心して暮らしていけるよう支援する。

- ・方向性を決定するため、平成15年認知症対策委員会を立ち上げ年2回委員会を開催。

ことさら徘徊模擬訓練の目的

- ・徘徊している人への「きづき」の目を養う。
- （気づくために認知症について病気を理解しておくことが大切）
- ・気がかりな高齢者へも「声かけ」ができる。

（高齢者へやさしく声かけられるでしょうか）

- ・安心して徘徊できるまちを目指して、関係者の連携「ネットワーク」をつくる。

（関係者の連携で、正しい情報の収集と速やかな情報の伝達をめざす）

- ・昨年、町内警察署や消防団、小学生20名や町民が加わり、徘徊模擬訓練を年1回開催中。

**竹川** 徘徊模擬訓練を通して地域がどう変わってきたのか？どういう学びがあったのか？

**藤原** 最初は、認知症の偏見が強かった。「〇〇さんが認知症だった」と噂になり、どうして役場が認知症の早期発見の支援をするのかという戸惑いの声もあった。

小学生が認知症のことを学び徘徊模擬訓練に参加することで、最初は知らない人には声をかけないという子どもが訓練後は知らない高齢者にも声をかけてみようとなった。

小学生の素直な声地域に加わることで、地域、そして町全体が変わった。地域の防災への意識も変わり、防災の連絡網ができ独自の地図を作ったりしている。

**竹川** その波及効果は非常に大きい。しつかりとしたネットワークを作っておけば、防災活動や模擬訓練の花が咲いてくる。連携やネットワークづくりの大切さが改めて伝わってきた。

八頭町でも、認知症について病気を理解すること、気がかりな高齢者に勇気を持って「声かけ」ができる環境を作り、関係者の連携「ネットワーク」を作る必要があるのではないだろうか。





安達 亨司さん

病院・コンビニと連携した移動販売による買い物問題の解決と高齢者の見守り活動の推進

安達

移動販売車を始めるきっかけ

- ・大型スーパーの outlet で客数が減少した際に「ならばこちらから販売に行けばよい」と考えた。
- ・過疎化の進展等で大型スーパーは撤退したが、「地域の生活を守りたい」という思いの下で閉鎖店舗の引き受けや大型移動販売車の導入などで事業を拡大している。

活動内容

- ・30の地域、80集落を週2回移動販売車で回る。
- ・販売商品：生鮮3品・牛乳・惣菜 弁当・日用品
- ・移動販売車数：5台 (冷蔵・冷凍ショーケースを完備)

活動の効果

- ・移動手段を持たない過疎地域の高齢者に買い物機会の提供はもちろんのこと、そこでの会話を楽しみに来店しており、集落のコミュニケーションの場となっている。
- ・販売商品は多種で中山間地域でもワンストップサービスを実施。

活動の工夫

- ・地域住民との結びつきを深めるため、地元の人を雇用。
- ・移動販売車まで出ていくことが困難な高齢者には、商品を玄関先まで持ち込み対応。
- ・事前注文にも対応(御用聞きをししながら集落の見守りをしている)
- ・コンビニと契約し、移動販売車のコンビニ商品販売を実現。
- ・月1回、移動販売車に病院の看護師が同乗し、高齢者の健康を見守る活動を実施。

今後の展望

- ・地域の活性化には若者の地域定住が必要と考え、地元高校から新卒採用するなど、地域の雇用に取り組む。
- ・地元住民が生産する野菜で、余剰野菜を買い付けるシステムの検討。

シンポジストからのメッセージ

竹川

八頭町へのメッセージを

小谷

何かを始める時、自分たちだけで頑張らず、他のグループや町民に協力してもらおうといい。八頭町の町民パワーをもちょうと行政の支えがなくても10年はやっていけるでしょう。

藤原

行政だけでは限界がある。できることをやっていき、失敗してもいいから一歩ずつできる地域からやっていくことが大切。

安達

例年並みの事をしていると何の事業も徐々に衰退するでしょう。移動販売は五十年前の商売の原点。お客さんと向き合い、人と人の結びつきができて心と心が通い合う、顔の見える商売。私は従業員に、作業ばかりしていてもだめ、工夫したりアイデアを出せ、そうした方がいい結果が出ると言っている。八頭町もいろいろアイデアをだして

やっていけばいいのではないか。

竹川

活動が長続きする原点は、住民のニーズを的確にとらえ、一人ひとりのニーズに応えながら地域づくりに取り組んで一歩一歩進んでいくことが大切です。そのためには、見守りネットワークを地域で作ることが第一歩となるでしょう。

来年から八頭町は地域福祉計画を基に地域福祉を推進していくことになり。町民の皆様の積極的な参画をよろしく願います。

お知らせ

地域福祉計画町民フォーラムのシンポジウムの様子は、CATVで放送します。ぜひご覧ください。

地域福祉計画町民フォーラムを終えて

策定委員長 清水 壽恵

2月4日立春の良き日に、八頭町地域福祉計画町民フォーラムが開催され、大勢の町民の方々のご参加をいただきありがとうございました。

この地域福祉計画は行政計画であり、地域の皆様のご参加で支援を必要とする人のために課題を解決しようとするもので、社会福祉協議会で既に実施されている地域福祉活動計

画サンプランの後押しをする計画でもあります。

平成22年9月17日、私を含め15名が地域福祉計画の策定委員として町長から委嘱され、アドバイザーとして鳥取大学地域学部地域政策学科の竹川先生に終始一貫した支援をいただき、地域福祉計画の策定に向けた取り組みを行ってまいりました。

各種団体の実態調査や独居高齢者への聞き取り調査、また、住民懇談会やパブリックコメントの結果をふまえて、5回の策定委員会を開催し、計画の内容について検討を重ねてまいりました。

多くの時間と労力を要しましたが、なんとか策定委員会案を作成し、皆様にご披露するまで辿り着くことができました。



清水 壽恵さん

当日は県内で先駆的に地域作り活動をされている『シンポジスト』3名の方から好事例を学びました。

東北の大震災から1年が経過しようとしていますが、当日の『シンポジスト』の日野ポランティアからも常時2人の方が出向いておられるとのことでした。

八頭町の万々に備えて避難訓練の実施やネットワークの充実も急がれます。地域福祉計画をしつかりと確実なものにすることが大切だと感じました。

今後、この地域福祉計画に基づいて福祉のまちづくりが進められ、人と人が支え合い、強い絆で結ばれ、誰もが住み続けたいくなる八頭町になるよう、皆様より一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、こんなにも多くの皆様にお集まりいただきましたことに、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

## 地域福祉計画町民フォーラムに参加して

八頭町社会福祉協議会

会長 山田 董

少子高齢化に伴う就業構造、世帯構造の変化は八頭町においても例外ではありません。一方、「住み慣れ

た地域で、心豊かに、近隣同士助け合って暮らしたい」という私たちの願いも強いものがあります。

この度の「八頭町地域福祉計画町民フォーラム」では、行政と私たち住民が協働して、地域再生・地域活性化に向けて、在宅福祉・在宅介護・医療等の充実を図り、更に要援護者を地域で見守り、互いに支えあう仕組みづくりを築くことの重要性が強調されました。地域福祉の推進には、住民参加が欠かせないということでした。

とくに、県内の崩壊していく地域社会を何とかしてくい止めるべく尽力してこられた日野ポランティアネットワーク代表の地域づくり、行政の立場での琴浦町地域包括支援センターのまちづくり報告、地域スパー「あいきょう」の病院やコンビニまで巻き込んだ活動の報告には、地域福祉計画の具体的活動の具現者として、一日の長があり、見習うべきことが多くありました。

社会福祉協議会に携わるものとして、「ふれあいサロン」の推進、「こだまネットワーク」の充実、「ポランティアセンター」機能の確立などを通して、住民の皆さまと行政・医療・福祉関係各諸団体等とのコーディネーターの役割を担って行きたいの思いを強くしました。

## 地域福祉計画町民フォーラムに参加して

八頭町民生児童委員協議会

会長 道谷 富士夫

人はみな、幸せにくらしたいと願っています。幸せにくらせる権利も憲法（生存権の基本権規定）で保障されています。ではどうしたら幸せに？・・・

「八頭町地域福祉計画町民フォーラム」で「八頭町地域福祉計画策定委員会案」が策定委員会より、平木町長へ提出されました。

これを受けて次に考えられる行政の方策は、八東・船岡・郡家の3地域にコーディネーターを置いた核（シンク・タンク）をつくり、モデルケースとして3地域でそれぞれ一箇所を指定し、地域福祉の推進が図られると思います。

民生・児童委員協議会総会のあいさつで、「：皆さんは福祉のエキスパートです。ぜひ地域福祉の、シンク・タンクの一員としてご尽力いただきたい」と話しました。

町社会福祉協議会の「やすサンプラン」における基本理念と相まって、町民の幸せのために活動を続けて行きたいと考えています。

# 11年間のシベリア抑留生活

## 激動の半生を振り返る

### 長く厳しい抑留生活

井上平夫さん（宮谷）は、昭和14年1月、17歳の若さで軍隊に志願して入隊。昭和16年に旧満州（中国東北部）に渡り、蒙古人民共和国（外蒙古）の情報を収集する諜報（敵情をひそかに探って知らせる）活動を昭和20年8月のソ連軍の侵攻が始まるまで続けていました。

ソ連軍に投降した日本人の大部分は、昭和25年頃までに送還されましたが、井上さんはシベリアに抑留されたまま、昭和31年12月の帰国まで、酷寒地で強制労働と栄養失調に耐え続けてきました。

今年2月、満91歳の誕生日を迎えられた井上さんは、シベリアで11年4カ月にも及ぶ抑留生活を経験された貴重な生き証人です。

今回は、井上さんに長く厳しかった当時を振り返っていただきます。

井上平夫さんは、大正10年2月、現在の鳥取市河原町で農業を営む田中家に、6人兄弟姉妹の4番目(次男)に生まれました。

## ■学生時代■

昭和2年の小学校入学時から、校庭で遅くまで野球やおにごっこなどをして遊び、夏は川で泳ぎ、秋は裏山へ登り、冬は霊石山で手作りのスキーで滑るなど自然を相手によく遊んでいました。

結局、高等科(現在の中学校)卒



八上青年学校2年の青年学校夏季演習参加(後列中央が井上さん)

業までの9年間は、遊びに夢中で、将来を見つめて勉強する」という考えはまったくなく、家で学習をしたことはほとんどありませんが、成績は常に優秀で、学校を一日も休むことなく卒業しました。

戦時色が濃くなり始めた、昭和11年4月、青年学校(現在の高等学校)に編入し、週2〜3時間の普通学科と軍事教練があり、軍事教練では初歩的な軍人としての基本を教わりました。

17歳になった昭和13年3月、「戦場で国のために華々しい働きをした」と思い、陸軍現役兵志願書を提出し、5月に徴兵検査(学科試験・身体検査)を受け、総合判定で一番優秀な「甲種」で合格しました。

## ■昭和14年■入営軍人に

昭和14年1月、鳥取市岩倉の兵営に現役兵(陸軍歩兵二等兵)として入営、演習が始まりました。

3カ月後の4月10日、陸軍歩兵一等兵に進級。さらに、12月1日付けで、陸軍歩兵上等兵と伍長勤務上等兵を命じられ、18歳という異例の若さで進級しました。

また、下士官候補者に認められ、下士官候補者の集合教育を岡山県の蒜山や日本原などで受けました。

## ■昭和15年■ 陸軍中野学校へ

昭和15年7月には、旧満州の関東軍第2下士官候補者隊へ派遣を命じられ、広島宇品港から貨物船を改造した輸送船で旧満洲に上陸し、班員24人の機関銃中隊に編入し、教育を受けました。

そして、11月末の卒業を前に中隊長から「極秘」の朱印の押しである関東軍司令部からの白い封筒を手渡されました。極秘文書とは何事かと手が震え、体が硬直し、大変なものを渡されたと思いました。

中隊長が「封を切つて文書を読め。読んだら返せ」と言われました。

恐る恐る封を切つて、中から文書を取り出し読んでみると「後方勤務要員として適任と認める。必要な教育を東京で行う。」という内容の記述でした。

中隊長が頃合いを見て「後方勤務要員とは早く言えばスパイのこと。敵の内情などをひそかに探る諜者のような勤務だ。軍服を脱いで異民族の中に潜入し、異民族工作とか敵の情報を集めたりするような任務である。そのため、国籍を抹消されることもある」と言われ、さらに「この手紙のことは口外してはならない」と厳命されました。

私が軍人に志願したのは、第一線で華々しく戦うことを夢見、そして訓練に励んできました。今後命じられる任務は、無国籍になり、両親との連絡も取れなくなる。家族に申し訳ないと思いました。こんな任務に生きがいを感ぜられるだろうか?自信がない。悩みに悩んだ末、中隊長に「辞めさせてほしい」と相談しましたが、「参謀本部の決定であり、私では変更できない。」と言われました。

11月30日に卒業式が行われ、旧満洲での5か月の教育を終えて帰国。鳥取の連隊に帰営すると12月1日付けで陸軍伍長に進級していました。

12月14日、東京の陸軍省兵務局防衛課に行くと「陸軍通信研究所」の表札が掲げられている建物に案内されました。ここが後方勤務要員を育成する「陸軍中野学校」でした。

面接で「後方勤務は大変重要な任務である。第1線のような戦功だの勲章だのと言う派手さはない。縁の下力持的存在である。」というような内容の説明があり、2日後の16日に入学式が行われました。

この学校では、軍服を着用せず普段から平服(背広)姿に長髪でいる事が推奨され、軍人であることを隠し、精神教育、語学、護身術、世界情勢などスパイになるための教育を受けました。

## ■昭和16年■ 旧満州関東情報部へ

昭和16年6月22日、独ソ戦が始まり、世界情勢の激変により、中野学校の1年間の教育期間が繰り上げられ7月10日に卒業し、17日に旧満州にある関東情報部へ転属しました。

任務地がモンゴル地域の王爺廟おうやびやう（現ウランホト市）支部に配属され、各特務機関から送られてくる情報の整理と住民やソ連・モンゴル軍の逃亡兵などから情報を集め、各関係機関に通報するのが主な任務でした。ソ連軍は、情報をかく乱するため偽装逃亡兵やスパイを送り込み、偽の情報流すため、その他の情報と比較検討し、正確な情報の収集に追われました。

昭和16年12月1日、20歳の若さで陸軍軍曹に進級しました。



満州国の国民服を着て活動

ハンダガヤの草原を  
蒙古馬で馳走



## ハンダガヤ出張所

昭和17年8月、蒙古人民共和国（外蒙古）との国境近くの前線にあるハンダガヤ出張所の責任者となり、モンゴル人15人に「ソ連の奴隷になっている外モンゴルの人々を日本人と一緒に救い、モンゴルを独立させよう。そのためには、情報収集が必要だ」との理由により、諜者としての教育を行いました。

日本人が支配者、モンゴル人が被

支配者の立場ではなく、一緒に生活をし、同じ食べ物を楽しみ、モンゴル人の信頼を得て、諜者教育、諜報活動を行いました。

9月から10月中旬まで、国境を越えて、外蒙古領に3人1組で諜者を派遣し、ソ連軍と蒙古軍の状況を調査しました。

この地域は、11月から翌年の4月までは、腰のあたりまで雪が積もり、足跡が残るので諜報活動は行わず、雪上訓練や狩猟を行っていました。

蒙古服に身を扮して  
投入工作



翌年の18年7月にはモンゴル人の諜者要員40余名が増員され、10月には、外蒙古国境警備隊の電話線に盗聴線を取り付け、電話盗聴工作を行いました。

## ■昭和19年■ 九死に一生を得る

昭和19年7月、王爺廟支部のある興安の飛行場から直線で約300km、所要時間約1時間のノーナイスムという飛行場に行くため、満洲航空が週1回定期運航している双発の飛行機に乗りました。

生まれて初めて乗った飛行機は、蒙古晴れの快晴の中を順調に高度を上げていき、上空からマッチ箱を並べたような興安の街並みを眺めました。

離陸から30分ほど経過し、老頭山という一番高い山を越えた頃に左右にあるエンジンのうち左側のプロペラが停止し、機体が左側に傾きました。操縦士が、機体を立て直し、水平を保ちますが高度がどんどん下がっていくのが分かりました。

飛行機は180度旋回し、興安飛行場に引き返しますが、老頭山の一本一草が見えるくらいすれすれの所を飛び、操縦士が危険な状態を宣言した時は「あと10分余りの命」と



生まれて初めて乗る飛行機に胸はずませて

覚悟が決まり、一瞬母親や姉妹の事が頭の中を駆け巡りました。

しばらくすると山あいが開けて飛行場が見えてきました。あと少しで滑走路に着陸できると思ったと同時に飛行機は大きな音を立てて、急ブレーキがかかり私たちは、前方の壁に叩きつけられ、意識を失いました。

気が付いて機外に出てみると機体は胴体着陸し、右側の回転していたプロペラは、地面にたたきつけられて3枚の羽根が鉛のようにグニャリと曲がっていました。

通信士は「飛行中に潤滑油が漏れてしまい、左側のエンジンが焼き付いて停止し、油圧で出すべき車輪が出なかった。操縦士は満洲航空の中

では、操縦技術が最も優れた人で、他の操縦士ならばおそらく墜落していただろう」と話し、私は、九死に一生を得ることができました。

### 昭和20年 ソ連が攻撃を開始

昭和20年8月9日、ソ連軍の攻撃が突然始まり、機動部隊が続々と国境を越えて南下してきました。

私たち日本軍は孤立し、敵の影におびえながら道なき道を南下しました。行く先々で、大きなかまなどの武器を持った現地の盗賊に襲撃され、開戦から1カ月たったころには、自決用に携帯していた手りゆう

弾も応戦にやむなく使用し、残りの弾も残り少ない状況で南下を続けました。

途中モンゴル人の集落で村長から「戦争はだいぶん前に終わって、日本軍は白城子（現在の吉林省）に集まり武器を置いて日本に帰っている」と教えてくれました。

開戦以来、山中をさまよっていた私たちは、敗戦を知る由もありませんでした。

### ソ連軍に投降

我々は、線路上を南に向かって歩き続けて、9月11日ようやく白城子に到着し、ソ連軍に投降しました。

我々日本軍人は、終戦まで刑務所として利用されていた建物に収容され、ここで「日本は米英ソ支の連合軍に対し、8月15日ポツダム宣言を受諾降伏した」ことを知りました。

### 流刑地「シベリア」へ

ソ連兵に「ダモイ（帰国）」と言われ、貨車に乗せられ収容所に入れられ、また、「ダモイ」と言われて貨車に乗せられてはほかの収容所に入れられ、「帰国。帰国」と騙され続けて連行された場所は、国境を越え、ロシア帝政時代からの流刑地「シ

ベリア」でした。我々の取り扱いは罪人以下であり「非常に腹立たしい」思いがしました。

11月初旬、ノーボヘパプロフカという駅で下車しました。気温はマイナス30度以下。寒さで顔が痛いなか、警戒兵に連行されて山中を歩きました。

到着した宿舎は丸太で外壁が組んであるだけで、屋根も入口のドアもありませんでした。私たちは毛布1枚にくるまり横になりました。

翌朝、自分たちで近くの材木を伐採し、丸太の屋根と床を取り付け、宿舎を整備させられました。

### 木材の積載作業

翌日から、伐採されている材木をトラックに積載する強制労働をさせられました。

6〜7人で、太い材は直径1.3m、細いもので20〜30cm。長さは6mと2mの2種類の材木をトラックに積み込みます。材木が凍っており、滑りやすくなっているため、全員の手が合わないと大変危険です。

防寒手袋は材木に擦れて指先が破れますが、修理する布も糸もありません。指を露出すると凍傷になるので、注意しながらの作業でした。

食事は、朝が雑炊と黒パン。黒パ

胴体着陸成功。九死に一生を得る



地面にたたきつけられて曲がったプロペラ

ンは朝食時に昼食用も同時に支給されました。昼食用を朝食べてしまうと、昼食は水だけになってしまします。

昼食の黒パンは、凍り付いて固くなっていて、たき火であぶりながら融けた所からかじりついて食べました。夕食は水のおかゆが少量しかなく、絶えず空腹で体力が衰え、栄養失調のため重い足取りで作業をしていました。

### 用材の伐採作業

11月末、作業を終えるとまた、ダモイと言われ移動を指示されました。体力の衰えと一日の作業の疲れで足取りの重いなか、前後左右を取り囲むソ連の警戒兵にダワイダワイ（急げ急げ）と急ぎ立てられながら、雪明りを頼りに山奥へ進みました。しばらくすると、柵で囲まれ、自家発電で柵内外の警戒地帯を照明し、逃亡に備えている本格的な収容所に到着しました。ここは日本人だけの大きな収容所でした。

ここでの強制労働は、2人1組で用材（主に松）を伐採する作業でした。道具は大きなこぎりとおのだけ、1日のノルマは1組8立米。立木の両側から長さ約1.5メートルのこぎりを2人が呼吸を合わせて、押した

り、引いたりして伐採しました。

ノルマ達成のため、日没後も作業が続きました。闇夜の伐採は大変危険で作業ははかどらず、四隅にいる警戒兵に「日本人早くやれ」と大声で怒鳴られながら酷寒の夜中の10〜11時まで作業が続きました。

少量のおかゆを食べて就寝。疲れも取れぬまま翌朝もまだ薄暗い時刻から伐採に出かけました。地獄とはこのような世界であろうか？ソ連側当局や警戒兵が鬼に見えました。ノルマもだんだん吊り上げられ、1組15立米になりました。到底我々の力では達成することはできません。遅くまで酷寒の夜空を仰ぎつつ涙しました。

### 製材作業

12月下旬、またダモイと言われ移動させられました。着いたところは、駅の隣にある収容所。

ここでは、歩いて15分ほどのところにある製材所で、山から運搬された材木を3交代で製材する、強制労働でした。

製材用の台車に木材を乗せ、製材機の中に押し込み板を作る作業ですが、ノルマ達成のために、製材機をフル回転させて木材を切れ間なく押し込まなければなりませんでした。

また、昼間の作業が終わってから貨車に木材を積み込む作業に駆り出されることもありました。長さ2メートルの材木を1本ずつ担ぎ、3〜4人で貨車に搬入します。栄養失調でやせ、昼間の疲れで足元はふらつき、さらに夜間は照明もない暗い車内を手探りで作業しました。

ソ連側は「早くしろ」と叫び続けますが、1両積むのに4〜5時間かかり、積み終えたと思えば、次の車両が入線することも珍しくありません。それでも翌日の作業は定時に始まるという過酷な状況でした。

木材はまだよいほうで、個別に袋詰めされていない石灰やセメントなどの粉末が、バラ積みそのまま貨車で運ばれてきたものをスコップでトラックに積み替える作業は嫌な仕事でした。

服も顔も粉だらけになり、飛散した粉が目に入り染みる。涙が止まらず視野が狭くなる。ポロ布で口や鼻を覆いますが、隙間から粉が入り、鼻水が出てきます。これにセメントなどが付着し、鼻の中で固まるので、取り除くのも痛い。鼻が詰まり呼吸が苦しくなり、肺に入るのか咳が続きました。

作業が終わっても風呂はないので体を洗うこともできず、ただ服を脱いで払うのが精いっぱいでした。

### 昭和 21 年

7月はシベリヤも暑く、1年で1番良い季節で、死んでいく戦友も減ってきました。初旬からまたダモイと言われ貨車で移動が始まり、収容所に入れられては、また、別の収容所へと収容所を転々と移動させられました。

このころは労働を強制しなくなり、殺伐とした気分は和らいできましたが、食事が粗悪なため体力が回復することはありませんでした。

.....

### 昭和 22 年

日本人捕虜を共産主義者、または同調者にするための洗脳工作と捕虜の動静を探るために、ソ連政治部の指導で収容所内に「文化部」という組織ができました。

2月ごろからソ連側による身上調査が始まりました。調査はソ連の下士官が日本人の通訳を通じて一人ひとり対面し、出身地、終戦時の部隊、職名、階級、任務等を調べました。

捕虜の中から終戦まで特別な任務（警察・憲兵・特務機関・軍参謀）に勤務していたもの（収容所では「前職者」と呼ばれていた）などがどこかに連行されていきました。

私は、中野学校出身、情報部勤務は隠し、一般のハロンアルシヤン部

隊の曹長であることにしましたが、文化部の者がソ連側に特務機関勤務であったことを通報していると思われ「どこかに連行される呼び出しがいつあるか」と思えば、心は穏やかではありませんでした。

### 昭和 23 年

5月初めに前職者と私はチタ市内の収容所に入れられ、炭鉱労働やトラックに砂や土を積み込む重労働が始まり、またノルマを課せられるようになりました。

また、ここでは共産主義者の民主運動が強化され、革命思想を持たない者には、執拗な吊るし上げが行われるようになりました。

### 昭和 24 年

2月にチタ監獄に収監されKGB（ソ連国家保安委員会）の取り調べが行われ、8月に「ソ連邦に対するスパイ行為を行ったため、矯正労働25年の刑に処する。上告はできない。」という内容の判決文を通訳が日本語で読み上げ、裁判が開かれることなく、KGBの取調官の一方的な調書で判決が下りました。



凍傷で右足の指は曲がり、つめはほとんどない。

またダモイと言われ、着いた先では鉄道工事の強制労働が始まりました。冬期の作業で右足先が凍傷になりましたが、十分な治療を受けることはできませんでした。幸い足の指先を切除することなく残っただけでもありがたいと思っています。

### 昭和 25 年

9月の初めにハバロフスクにある収容所に移動させられ、帰国までの6年余りをここに収容所を中心に、主に建築作業を行いました。

### 昭和 31 年

10月19日に鳩山一郎首相がモスクワで日ソ共同宣言と通商議定書に調印。この日以来収容所での取り扱いががらりと変わりました。12月9日からは作業が中止になりました。

## 夢にまで見た帰国へ

昭和31年12月21日午後、収容所の門が開けられ、夢にまで見続けた祖国への帰還が始まりました。夜、駅に止まっている客車に乗り一夜を過ぎました。

翌日の午前10時、港に向けて客車が動き始め、23日の午前11時30分、港のあるナホトカに到着しました。岸壁に出ると日本から迎えに来た

「興安丸」が横付けされ、船尾には日の丸の旗が潮風に吹かれて翻っていました。胸から熱いものがこみ上げてきて、涙がとめどなく流れてきました。

船内で11年ぶりの日本食に舌鼓を打ち、備え付けの毛布にくるまり就寝しました。

24日朝、ソ連の砕氷船が港内に張りつめた厚い氷を砕き、興安丸の離岸を準備し、午前11時、帰還者1025名を興安丸は、銅鑼と鈍い汽笛の音を鳴らして出港しました。

しばらくすると誰かが「クロが後を追ってくる」と叫びました。海を見ると、砕氷の上をあちこち渡りながら船を追いかけてくる黒毛の犬がいました。この犬は、収容所内で日本人が飼っていたもので殺伐とした雰囲気と和ませてくれた犬で、名前を「クロ」と言いました。

（クロの話は、「クロ物語」（けやき出版）、「氷の海を追ってきたクロ」（学研）、「氷海のクロ」（郷土出版）に書いてあります。図書館にもあるので、こちらを見ていただきたい。）  
26日午前8時、興安丸は舞鶴港沖に停泊し、いかりを下しました。小型の船に乗り換えて棧橋から午前11時30分、祖国日本の大地へ第一歩を踏みしめました。この時が来るのを一縷の望みで生き、夢に描き続けた念願がかないました。

帰国して半世紀の55年経過しましたが、井上さんは当時の事を昨日のここのようにはつきり覚えておられ、時折言葉が詰まったかと思えば、涙を流されていました。  
井上さんは、外蒙古地内に潜入し殉職したと思われる11人のモンゴル人とシベリアで栄養失調と発疹チフスで死んでいった仲間たちの冥福を祈り毎朝仏壇に水を供えて手を合わせているそうです。

「終戦から66年たちますが、武器を持つての戦闘だけが戦争ではない。戦後もこのような過酷な生活を強いられるのも戦争であり戦禍（戦争による被害）です。戦争は絶対にあってはならない。」と体験者が語る重い言葉で締めくくられました。

# 韓国横城郡派遣 行政研修生研修報告



横城郡庁の入り口にて

行政研修生として韓国横城郡に派遣されたのが昨年の4月。それから10カ月は本当に「あっ」という間

## 横城郡庁での10カ月の研修を終えて

八頭町総務課 中村 孝子

八頭町と韓国横城郡は、平成17年12月に交流協定を締結し、さまざまな分野で交流をしており、交流事業の一環として行政研修生の相互派遣事業を行っています。今年度は、八頭町から中村孝子主任が横城郡に派遣されていますが、研修を無事に終えて帰国しました。慣れない海外で、10カ月もの長期にわたる研修は大変だったと思いますが、今回の研修で得た成果を今後の友好交流に生かされることを期待します。

に過ぎ去っていききました。

横城郡庁での研修では、自治行政課、企画監査室、文化体育課、都市行政課、畜産課、建設防災課、保健所、横城邑事務所、民願奉仕課、住民生活支援課と計10課をまわることができました。

言葉の壁はありましたが、横城郡庁の職員のみなさんをはじめ、横城郡で出会う人々が「八頭町から研修に来た私が多くのことを学べるように」といろいろと心配りをして下さったおかげで、毎日新鮮な気持ちで多くのことを吸収し、頭で勉強するだけでなく、実際に見て、体験して学ぶという貴重な経験を積むことができました。

## 横城郡の積極的な取り組み

横城郡と八頭町は、横城郡の人口が約5万人と2倍以上多いことから規模の違いはあるものの、農業を主産業としている現状や少子高齢化の問題を抱えていることなど似通っていることが多いと思いました。

一方で、日本と韓国では文化が異なり、国の政策も違うので、実際に八頭町で同じ取り組みをすれば、実際に少し難しいかなと思う部分もありました。

しかし、生涯学習都市を宣言し、人材育成に力を入れることで将来を見据えたまちづくりを展開している点、農工業団地を建設し企業誘致に取り組み一定の成果を挙げている点、観光産業を充実させるための観光名所や特産品の広報方法など、どのようなまちづくりをしていくのかという展望をしっかりと持ち、それを達成するべくさまざまな事業に積極的に取り組んでいるという印象を受けました。

## 口蹄疫問題

また、横城郡は韓牛が有名なことで韓国国内でも知名度が高いのですが、2010年に発生した口蹄疫問題は、郡庁職員だけでなく住民や郡内の軍人、警察、農協、畜産協会など多くの関係者達が総出で、大変



口蹄疫対策で協力した皆さんと

な思いをしつつも協力してその非常事態を収束させたと聞きました。

その迅速な対応は、現地視察をした李明博大統領にも賞賛されたということ。そして、現在も口蹄疫予防のため、家畜農家の戸別訪問や消毒作業が継続して行われ、今年も、横城郡で家畜されている牛全てに予防接種が行われたそうです。

このように、今でも継続して口蹄疫対策が行われていますが、せりだされる牛の価格が口蹄疫発生前に比べて大幅に下落するという、家畜農家にとっては頭が痛い新たな課題や問題が生じているようです。

## 多文化家族支援策

今回の研修で私が一番興味を持った事業は多文化家族支援策です。

これは、近年、韓国国内、特に農



外国から来たお嫁さんを対象にした韓国語講座

村地域で国際結婚が急増したことに伴い、韓国人と外国人による国際結婚で構成された多文化家族が安定的な生活を送ることができるよう、語学教育、就職、医療、生活費などの他範囲にわたる支援を行うといった施策です。

私は、この多文化家族を対象に開催されている韓国語講座に通って勉強をしていましたが、韓国の人と結婚して横城郡にやって来る女性達が毎月のようにやって来るのを目の当たりにし、その国際結婚の多さに驚きました。

彼女達は韓国語を話せないうちに言葉や文化の違う異国にやって来ます。そのような中、結婚生活や子育てをしていくのは本当に大変だと思

うので、このような多文化家族支援策があるのは彼女達にとってとても心強いことだと思いました。

## 自国を改めて見つめなおす

このように、横城郡での10カ月間の研修生活では、テレビやインターネット等の情報では知ることができない、実際に生活することで身を持って体験することができ多くのことを学びました。

国際交流の利点は、他国を知ることとで視野を広げ、知識を深めることができるだけでなく、他国に行くことで自国を改めて見つめなおすことができる点だと思えます。

私も、韓国の文化を学ぶことで日本文化を意識し、自分がこれまで当たり前だと思っていたことがそうではないこと、別の視点で見ることでもまた新しい発想が生まれることをさまざまな体験を通じて学ぶことができました。

韓国に来て、韓国の人が日本に対して抱いているイメージでよく聞いたのは、「道がきれい」、「人々がとても親切で礼儀正しい」ということでした。これまで道がきれいなのは当たり前だと思っていましたし、私たちが特に礼儀正しいとは思っていませんでした。韓国の人達からするとそうなのだそうです。

これは、私たち日本人が誇るべきことだと思えますし、そのいい

イメージを大切にしつつ、さらに諸外国から見本とされる文化を創っていくかなければならないと思えます。

## ともに発展していける関係性を

横城郡のみなさんは、八頭町と横城郡とがこれまで培ってきた友好関係があるので、八頭町に対する関心がとても高く、よいイメージを持っています。

そのイメージを保ち、八頭町が横城郡の人達にとって、さらにたくさんのことを学びたいと思ってくれるような魅力的なまちでありたいと思います。また、八頭町のみなさんにも機会があれば、ぜひ横城郡を訪れていただきたいと思います。

このように、双方の交流が活発化することで、両地域が互いに学びあい、ともに発展していける関係性を築くことができたらいと思っていますし、そのために、微力ではありますが、この研修で学んだことを今後に活かしていきたいと思っています。

最後に、今回、行政派遣研修生として貴重な体験をする機会を与えていただいたことに感謝すると共に、横城郡で暖かく迎え入れ、多くのことを教えてくれた全てのみなさんに感謝します。

감사합니다  
カムサハムニダ

(ありがとうございます)



受賞者の皆さん

# まちの話題

話題・情報は、企画課へ

TEL 76-0203 FAX 73-0414  
eメール yazu-kouhou@town.yazu.tottori.jp

## 平成23年度 八頭町表彰式

1月28日(土)、郡家公民館で八頭町表彰式が開催され、自治の振興など町勢の伸展に寄与された方々に表彰及び感謝状が贈られました。

受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

### 【功労表彰】

町議会議員として町政発展に貢献

森山 大四郎 (安井宿)

小林 久幸 (日田)

町消防団員として職務に尽瘁され、

民生の保全に貢献

木原 耕一 (下日下部)

小竹 道仁 (才代一)

### 【善行表彰】

町消防団員として町民の生命財産を

守るため職務に精励

岸本 幸彦 (下津黒)

町交通安全指導員として町民の交通

安全と交通安全意識の高揚に貢献

前土居 一泰 (下峰寺)

竹内 ゆづる (郡家西区)

西田 雅恵 (東一)

河村 美保 (覚王寺)

人権擁護委員として町民の人権擁護

と人権意識の高揚に貢献

春菜 正崇 (安井宿)

八東走ろう会会長及び顧問として体

育の振興に貢献

竹本 正實 (北山)

町文化財保護審議会委員として文化

の振興に貢献

大平 晃 (用呂)

山本 聰 (水口)

町体育協会会長として体育の振興に貢献

奥平 俊次 (奥谷)

町商工会役員及び町観光協会役員と

して産業の振興に貢献

三淺 保則 (郡家西区)

体育等の業績が顕著であり、本町の

文化体育の振興に貢献

全国高等学校総合体育大会

フエニング競技第8位

### 【感謝状】

浦林 勇太 (下野)

町体育協会役員として体育の振興に貢献

西川 卓也 (上日下部)

森林団地化による作業道整備や間伐

搬出において先進的な取り組みを推

進され、山村集落の活性化に貢献

入江 清人 (山志谷)

農地を集積した大規模経営や農産物

の加工品生産に積極的に取り組ま

れ、農地の保全と産業の振興に貢献

有限会社 田中農場

農地を集積した大規模経営や収益性

の高い農産物の生産販売に取り組み

られ、農地の保全と産業の振興に貢献

## 鳥取県学校給食優良団体表彰を受賞

### 八東学校給食会

平成23年度鳥取県学校給食優良学校等表彰式(鳥取県教育委員会主催)が1月28日倉吉未来中心で行われ、八東学校給食会(代表藤田洋太郎)が「鳥取県学校給食優良団体表彰」を受賞しました。

この受賞は、年間を通じて地元の新鮮で安全な食材を学校給食に提供し、学校給食用食材の地産地消の推進において優れた成果をあげたこと、また、子どもたちとの交流、学校給食週間行事への参画などで地域の食育推進に貢献したことが認められたものです。

代表の藤田氏は、「この受賞を励みにこれからも新鮮で安全な食材の提供に頑張りたい」と話しておられました。



八東学校給食会の皆さん

# かがやき

男女共同参画センター

YAZU-TOWN

〒680-0521  
八頭町安井宿 713-1  
☎ 84-2361  
FAX 84-2362

2/  
14

母親サロン

「安心おやつをつくらう」



クッキーを作るおかあさんたち

男女共同参画センター「かがやき」では、乳幼児を持つ母親同士の交流の場として、バレンタインデーの2月14日（火）、小さな天然工房Haru主宰の小倉千春さんを講師に迎えて、「安心おやつづくり」を八東体育文化センターで実施しました。

## 米ぬかクッキーの作り方～材料(約20個分)～

～材料～

- ・薄力粉…70g
- ・米ぬか…10g
- ・自然塩…少々
- ・菜種油…20g
- ・メイプルシロップ…30g

～作り方～

- ※ オープンを170℃に予熱しておく。
- ① 材料をボウルに入れて、ホイッパーでよく混ぜ合わせる。
  - ② ①に菜種油とメイプルシロップを加えて、手でよく混ぜ合わせる。
  - ③ すべての材料が完全に合わさったら、麺棒で厚さ3mmぐらいにのばす。
  - ④ 型で抜くか、ナイフで四角に切るなどして、クッキングシートを敷いた天板に並べて、170℃のオーブンで20分弱焼く。

おやつでは、乳製品・卵を使用しない「豆腐とココナッツのブラウニー」や乳製品・卵・小麦粉を使用しない「米ぬかクッキー」などを作りました。

参加された15名のお母さんたちは、子どもたちのために安心でおいしいおやつを作ろうと熱心に取り組んでいました。ご家庭で簡単に作れるおやつですので、アレルギーのない子どもさんをお持ちの方も一度挑戦してみてくださいいかがでしょう。

## 父親の育児講座

# 親子で木工品を作ろう

- 日時** 3月25日（日）13:00～
- 会場** 八東体育文化センター（八東中学校隣）
- 対象者** 小学生以上の親子
- 講師** 智頭「木の香り工房」
- 制作品** プチチェアー、本立て、貯金箱、小物入れのうちいずれか1つ
- 参加費** 木工品1作品500円（当日集金）
- 定員** 親子30組（先着順）
- 締切日** 3月16日（金）
- 申込・問い合わせ**

八頭町男女共同参画センター  
☎ (84-2361) FAX (84-2362)

**主催** 「父親の育児講座」実行委員会・八頭町

★「カンフーパンダ2」の映画上映会が10:00からあります。映画上映会に引き続き木工品作りに参加される方に限り、カレーライスを無料で用意します。



## 参加したおかあさんの声

Qアレルギーを持つ子どもでも食べられるおやつが、なかなか見つからず、困っていましたが、今回のようにアレルギー源を使わずに、身近な材料でおいしいおやつが作れることが分かって本当に良かった。ぜひ、家でも作って子どもたちに食べさせてあげたい。

Q子どもが卵アレルギーで、卵を使わないおやつはどうやって作るのか、興味がありました。とても美味しかったです。託児もあって、子どもと離れて母親の時間を持てたことも良かったです。また開催していただきたい。

Q離乳食が始まったばかりなので、これからの参考にしたいと思います。

Q子どもにアレルギーがあるので、おやつはいつも手作りしています。とても簡単に出来たので、家でも作ってみたいと思います。

# 平成23年度

## 八頭町体育協会表彰

平成23年度八頭町体育会表彰式が1月28日(土)郡家公民館で行われました。

この賞は、体育の振興に顕著な成績をあげた町内関係者に送られ、本年度は、体育功労賞7名、スポーツ賞個人23名、団体9チームの総勢105名の方が表彰されました。

受賞された方々の今後の益々のご活躍を期待いたします。受賞された方は次の通りです。(敬称略)

### 〔体育功労賞〕

奥平 俊次(体育協会)  
西川 卓也(体育協会)  
安養寺洋昭(空手道競技)  
鈴木 春男(野球競技)  
竹内 伸一(ソフトテニス競技)  
藤田 民夫(グラウンドゴルフ競技)  
池本 操(グラウンドゴルフ競技)

### 〔スポーツ賞(個人)〕

**柔道競技**  
山中 惇生(郡家東小学校)  
衣笠佑太郎(郡家東小学校)  
小林 晴(丹比小学校)  
小林 岳(丹比小学校)  
**空手道競技**  
田中 柁耀(郡家東小学校)  
**グラウンドゴルフ競技**  
来田 茂(福本)  
**陸上競技**  
林田 仁(郡家西小学校)

入江 彩月(郡家西小学校)  
芦田 航一(中央中学校)  
森田 大希(中央中学校)  
澤谷 真生(中央中学校)  
中村 有羽(船岡中学校)  
山田 真規(船岡中学校)  
**卓球競技**  
多内 太良(八東中学校)  
**水泳競技**  
古田 滯(隼小学校)  
渡邊 早紀(郡家西小学校)  
小山 将範(見槻中)

**スキー競技**  
岩城京一郎(八東中学校)  
竹内 美春(八東中学校)  
の場菜那子(八東中学校)  
伊藤 花(八東中学校)  
田中 裕紀(八東中学校)  
入江香菜子(八東中学校)

### 〔スポーツ賞(団体)〕

**隼小学校(水泳競技)**  
男子500mリレーチーム  
中尾 昭貴、中村 夏音  
見山 亮太、垣田将太郎  
垣田 賢伸、古田 真尋  
中尾 太紀、藤原 耕陽  
大谷 健、西川 雅人  
**隼小学校(水泳競技)**  
女子500mリレーチーム

川戸 舞香、垣田 唯那  
中村 稚菜、古田 滯  
保木本怜奈、藤原 菜月  
上田 胡桃、岸田 清楓  
池本 有璃、中村 華笑  
**隼小学校(水泳競技)**  
女子200mリレーチーム  
岸田 清楓、中村 稚菜  
古田 滯、上田 胡桃

**成年2部八頭町チーム(バレーボール競技)**  
田中 聡、中島 忠  
藤田 貢司、加藤 正和  
岡本 幸利、佐々木純一  
谷口雅美智、厨子 礼一  
高木 正弘、谷本 清通

**郡家柔道クラブ(柔道競技)**  
小林 岳(丹比小学校)  
石破 大暉(郡家西小学校)  
田中 章喜(郡家西小学校)  
衣笠佑太郎(郡家東小学校)

### パシモンズ 成年男子(バスケットボール競技)

三浅 隆則、河村 祐介  
岸本 悟史、石破 一美  
野々崎雄斗、山崎 展弘  
新竹 浩平、赤松 大嶺  
井上 明、西谷 航  
松本 直士、井上 剛  
細田 和孝、山崎 将史  
中村 和哉、下田 悠樹  
**成年1部八頭町チーム(ソフトボール競技)**

古田 直樹、田中 智宏  
山田 裕人、的場 善博  
山根 雅人、田中 貴史  
森下 操、秋山 穂高  
竹内 洋平、長砂 博文  
山崎 良樹、山本 和也  
藤原 直樹、西尾 昂也  
尾崎 貴司、藪田 昭彦  
山根 佑介

**郡家東小クラブ(卓球競技)**  
荒西 陽世、川上 愛可  
川上 夢可、川上 智聖  
安住 麗奈  
**中央中学校卓球部女子(卓球競技)**  
荒西 智世、北村 彩奈  
尾崎 彩、井関 七海  
植嶋 詩織、河原 光里

# 郡家柔道クラブ紹介

## ○クラブ紹介

郡家柔道クラブは、「日常五心」・「自他共栄」の精神に基づき、小学生から一般まで年齢性別を問わず、柔道の魅力を伝えています。

本クラブは地域社会のスポーツクラブではありますが、行政上の位置づけは八頭町柔道部でもあることから八頭町からのご支援も頂いており、県内外の大会等へも積極的に参加しております。

平成24年度から中学校体育において、武道の必修化が実施され、特に八頭町では「柔道」に取り組むことが決定しております。また、女子選手も少なからずとも在籍していますので男女問わず、とりあえず、見学大歓迎ですのでお越しください。

※日常五心とは「はいという素直な心。すみませんという反省の心。おかげさまという謙虚な心。わたしがしますという奉仕心。ありがとうという感謝の心。」をいいます。

※自他共栄とは「相手を敬い、己の技を磨かせてくれた相手に対し感謝をすることによって礼の精神を身につける。それにより、相互を信頼し助け合う心を育ち、結果として共に大きく成長することができる。自分だけでなく、他人も共に栄える世の中を作っていこう」ということ。



## ○指導者紹介

向井 恒夫 (むかい つねお)	澤田 道広 (さわだ みちひろ)
清水 健一 (しみず けんいち)	山田春太郎 (やまだしゅんたろう)
松田 悟郎 (まつだ ごろう)	岡本 貴也 (おかもと たかや)
片山 恵太 (かたやま けいた)	横井健太郎 (よこい けんたろう)

## ○稽古内容

- (1) 稽古日時 毎週水・土曜日
- ・毎週水曜日 19:00～21:00
  - ・第1・3土曜日【自主練習】18:30～19:00 【本稽古】19:00～21:00
  - ・第2・4土曜日【本稽古】18:30～20:30 【居残り練習】20:30～21:30
- (2) 稽古場所 郡家武道場 (中央中学校アリーナ地階)

○問い合わせ先 向井 ☎090-1016-6624 清水 ☎080-1933-9545

## 1000万人のガンバリサポート!!

### 傷害保険 賠償責任保険 突発死葬祭費用保険 **スポーツ安全保険**

スポーツ・文化・ボランティア活動などの団体活動に最適な保険です。

対象となる事故 ★グループ活動中の事故 ★往復中の事故

保険期間 平成24年4月1日午前0時～平成25年3月31日午後12時

財団法人 **スポーツ安全協会** 鳥取県支部  
(鳥取県体育協会内)

〒680-0944 鳥取市布勢146-1 TEL 0857-28-1288

(団体活動を行う5名以上の方で御加入ください。)

加入対象	年間掛金 (1人)	傷害保険(保険金額)(単位:円)			
		死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)
○子ども(中学生以下) ○大人の文化・ボランティア・地域活動 (16歳以上)	800円	2,000万	3,000万	4,000	1,500
○大人のスポーツ活動(16歳以上)	1,850円	2,000万	3,000万	4,000	1,500
○65歳以上のスポーツ活動	1,000円	600万	900万	1,800	1,000
○危険度の高いスポーツ活動	11,000円	500万	750万	1,800	1,000
賠償責任保険(免責金額なし) 身体・財物賠償合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円限度		共済見舞金 突然死(急性心不全、脳内出血等) 180万円			

# 福祉環境課からの お知らせ

問合せ先  
福祉環境課  
福岡支所住民課  
八支所住民課  
847276-10205  
110044  
11220

## 国民健康保険のお知らせ

会社を辞めたり、就職したときは届出が必要です

職場の健康保険や各種共済組合に加入している方とその家族及び生活保護を受けている方以外は、国民健康保険に加入しなければなりません。国民健康保険は、職場の健康保険などとは違い、加入するときもやめるときも、加入者自らが14日以内に役場福祉環境課または各支所住民課に届け出をしなければなりません。

### ○会社を辞めたとき

会社を辞めて、保険証がなくなった場合、社会保険から国民健康保険に変わります。無保険にならないよう加入届出をしてください。

### (届出に必要な物)

印鑑・離職(退職)証明書または資格喪失証明書

### ○会社に就職したとき

国民健康保険に加入している方が、

社会保険に加入したときは、国民健康保険喪失届を提出してください。手続きをされないとい引き続き国民健康保険税が賦課されます。

### (届出に必要な物)

印鑑・新しい保険証(扶養している家族の保険証も含む)・現在お持ちの国保の保険証

## 国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証(70～74歳)をお持ちの方へ

70～74歳の方の自己負担額は、平成24年3月末まで1割に据え置かれていましたが、国民健康保険制度改正により、さらに1年間延長され、平成25年3月末まで自己負担額が1割に据え置かれます。

これに伴い、新たな高齢受給者証を、3月下旬に自宅に郵送する予定です。

**【対象外の人】**一定以上の所得のある人で、すでに3割負担をいただいている人

# ごみの処分方法にご注意ください

ストーブ本体の  
灯油も空にして

使えなくなった石油ストーブは、大型資源ごみとして回収しますが、「家庭ごみの分別と出し方手引き」にあるように、電池と燃料を空にしてから出してください。

石油ストーブは、給油タンク以外にもストーブ本体に灯油をためています。

給油タンクを空にしただけではストーブ本体に灯油が残っていますので、使い切るか、ポンプでストーブ本体の灯油も空にしてから出すようにしてください。



灯油タンクのすぐ下に灯油が残っています。

FRP船  
リサイクルシステム

FRP(ガラス繊維強化プラスチック)船の処分はリサイクルシステムがあり、適正に破碎され、セメント原料等にリサイクルされます。

平成24年度の受付期間  
第1期 4月1日～6月13日  
第2期 9月1日～11月2日

詳しくは、「(社)日本船艇工業会FRP船リサイクルセンター」  
電話 03-3567-6929  
お問い合わせください。  
<http://www.marine-jbia.or.jp/>



# 総合的な福祉支援を



## 八頭町福祉事務所を開設

4月1日より、八頭町福祉事務所を船岡分庁舎内に開設します。

これまで鳥取県東部福祉事務所が行っていた生活保護事務等が町へ移り、これにより福祉に関するサービスの一体的な提供が可能となります。

皆様にとって、より身近な窓口で事務を行うことで、「総合的な福祉サービス」の充実を図ります。

### Q 福祉事務所とは

生活保護や児童福祉、障がい者福祉、母子福祉などに関する相談、援護や保護を実施する社会福祉機関です。  
 なお、本町では、業務によって窓口が異なりますのでご注意ください。

受付窓口	業務の種類	事務内容
福祉事務所（船岡分庁舎） 電話 72-0451	生活保護	経済的な理由等で困窮されている方の自立援助を目的に相談、あつせん、扶助等を行います。扶助内容は、生活・住宅・教育・介護・医療などがあります。
	助産施設・母子生活支援施設入所	経済的な理由等で入院助産が困難な妊産婦や家庭事情のある母子の保護・支援を行うための施設入所認定や相談を行います。
	母子相談	母子・父子家庭等児童の健やかな成長を支援するための相談を行います。
保健課（郡家保健センター） 電話 72-3566	特別障害者手当	在宅の重度障がい者の負担を支援するため、手当の認定や支給、相談を行います。
福祉環境課（役場本庁） 電話 76-0205	児童扶養手当	母子・父子家庭の児童の健やかな成長を支援するため、手当の認定や支給、相談を行います。

※障がい者福祉に関する事務は従来どおり、保健課（各保健センター）で、また、児童福祉に関する事務については福祉環境課で行います。

## ファミサポ だより

八頭町は安心して子育てができる町を目指しています

23年度会員数  
(H24年1月末現在)

依頼会員：215人  
支援会員：61人

利用状況  
(H23.4.1～H24.1月末まで)

116件の  
利用がありました。

7/7  
(木)

### 七夕交流会

七夕飾りをしたり、笹まきを作ったり、七夕のうたをみんなであうたって、楽しい時間を過ごしました。

11/22  
(火)

### 支援会員研修会

「読み聞かせの基本」& 「わらべうたと手遊び」  
 戸田さん（絵本読み聞かせ）と山本さん（手遊び）においでいただき、読み聞かせのコツや絵本の選び方、子どもの喜ぶうたや手遊びを習いました。

H23年度  
こんな事業を  
実施しました...

1/17  
(月)

### 親子でストレッチ

寒い季節、親子でできるストレッチ体操をFitnessJaへんぐの澤 晶子先生に教えていただき、親子のスキンシップ&ストレッチで体がポカポカになりました。

### ありがとうございました

- 八頭町社会福祉協議会から助成金（赤い羽根募金配分事業）をいただき、子ども用ふとんを購入しました。
- ファミリーサポートセンター事業は、国からの補助金で運営しています。

■依頼会員（子育ての援助の必要な方）、支援会員（子育てのお手伝いをしてくださる方）を募集しています。申し込みは随時受け付けています。

《お問い合わせ先》

八頭町役場福祉環境課（☎76-0205）

ファミリーサポートセンター（八東児童館内 ☎84-1212）



## 「未公開株商法」への

## 対応方法



## 相談事例

業者から電話がかかってきました。「上場間近の株をあなただけに譲渡します。上場すれば確実に値上がりし、購入価格より必ず高額になります。必ず儲けが出ます。」としっかりと勧誘されました。

聞いたことがない会社の株だったので、インターネットで検索したところホームページを発見しました。きれいなホームページで、成長著しい会社であることが盛んにPRされていました。実際その会社に電話で問い合わせたところ、上場間近であるとの回答でした。

私はもう80才になりますが、身よりのない独居老人です。年金暮らしで、預金を取り崩しながら生活しています。預金の利子が安いせいで預金していても預金が増えないので、預金を取り崩しながらの生活をいつまで続けられるか不安で、これからどうしたらよいかと悩んでいた矢先のことでした。

私は今まで株など買ったことがありませんでしたが「購入価格より必ず高額になります。必ず儲けが出ます。」という業者の説明を信じて預金から500万円引き出して株を買ってしまいました。

しかし、上場予定日になっても上場しないので問い合わせたところ、もう少し待ってほしいと言われ待っている間に業者とも連絡が取れなくなっていました。契約を取り消し払ったお金を返してもらおうことはできるでしょうか？

## 上田雅穂弁護士のアドバイス

未公開株とは、証券取引所や店頭を上場されていない株のことをいいます。

この未公開株が上場された場合新規上場後の値段が公募・売出価格を大きく上回ることが多いため、これに着目して株の上場が間近いと誤認させたり絶対に儲かるなどと虚偽の説明を行って上場予定のない企業の株を売りつけたりするなどの悪質商

法が行われています。以前リクルート事件、NTT株の売買について話題になった際に、株を上場前に取得しておくこと上場してから大儲けできるといふ認識が世間に広まっているため、被害が未だに後を絶たない状況です。

このいわゆる未公開株商法への対応方法としては、まず、本件業者が証券業登録を受けているか確認する必要があります。証券業登録を受ける証券会社等しか株取引を行うことができまないので、もし無登録業者であれば、本件における勧誘行為自体違法（金融商品取引法29条）となります。

次に、業者は「顧客の知識、経験、財産の状況及び金融商品取引契約を締結する目的に照らして不相当と認められる勧誘を行ってはならない」（金融商品取引法40条1号）とされているにもかかわらず、株など買ったことがない80才の独居老人を相手に株券の購入を勧めており、違法な勧誘行為といえます。

本件における勧誘行為は、不法行為（民法709条）を構成し損害賠償請求が可能です。

また、業者は「必ず値上がりし、購入価格より必ず高額になります。」と説明しており、いわゆる「断定的判断の提供」（消費者契約法4条1項2号）に該当しますので契約取り消しが可能です。

また、本件のような金融商品取引において、実際に販売が行われるまでの間、元本欠損が生じるおそれがある旨等説明する義務を負っており（金融商品取引法3条）、これについて説明がなされない本件においては「重要事実の不告知」（消費者契約法4条1項2号）に該当しますので契約を取り消すことが可能です。

さらに、株式発行会社は被害者からの問い合わせにも上場間近であるとの回答していることから、業者の未公開株販売行為に関与していたものといえ、共同不法行為責任を負う可能性があります（民法719条）。

そもそも未公開株式は、譲渡制限がある場合が多く、一般に株券が出回ることはありません。

未公開株式の購入を勧誘された場合、未公開株を購入する前に役場企画課（☎76-0203）または、鳥取県東部消費生活相談室（☎0857-2617605）にご相談下さい。



みんなで

かけがえのない命を

支え合いましょう

保健センターだより

連絡先	
郡家保健センター	TEL 72-35566 FAX 72-35565
地域包括支援センター	TEL 72-35555 FAX 72-35565
船岡保健センター	TEL 73-0670 FAX 73-0741
八東保健センター	TEL 84-1234 FAX 84-1235

警察庁の統計によると、平成23年の全国の自殺者数は3万584人（暫定値）であり、14年連続で3万人を超えてはいますが、3万1千人を下回るのは平成10年の急増以降初めて（14年ぶり）のことです。

多くの自殺は個人の自由な意思や選択の結果ではなく、病気の悩み等の健康の問題、失業等の経済・生活の問題など様々なことが複雑に関係して、心理的に追い込まれた末のことであるといわれています。

自殺を図った人の直前の心の健康状態をみると、大多数はうつ病等の精神疾患にかかり、正常な判断ができなくなってしまうっており、行動に及ぶ前に、周囲の人に何らかのサインを発していたことがわかっています。

そこで、自殺予防にはうつ病等の精神疾患に対して、早めに医療機関を受診すること、また家族や同僚など身近な人がいつもと違うサインに早く気づき、適切な対応をすることが重要となります。

身近なあなたのできる 取り組み

様々な悩みを抱えた人は、「人に悩みを言えない」、「どこに相談したらよいかわからない」等の状況になっっていることがあります。

そこで、周囲の人は、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守っていくことが大切です。

〈気づき〉 家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

どう声かけをしたら良いかわからない時は、「眠れていますか？」とか、「どうしたの？何を悩んでいるの？」などと話しかけてみましょう。

〈傾聴〉 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

話を聴くときは、相手が体験したことや感じていることなどを十分に聴き、共感しましょう。

話をしてくれたこと、これまで苦労したきたことなどをねぎらうことが大切です。

相手への批判や安易な励まし、説教などは望ましくありません。

〈つなぎ〉 早めに専門家に相談するように促す

うつ状態かもしれないときや借金苦で悩んでいるときなど、状況に応じて、医療機関や公的相談機関等への相談を勧めましょう。

〈見守り〉 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

悩みを抱えた人が一見元気になっただよに見えても、悩みは繰り返す頭を占めるものです。

温かく寄り添いながら、じっくりと見守っていきましょう。



十分な睡眠は  
こころと身体の栄養です  
八頭町睡眠キャラクター「スーミン」

# 八頭町食生活改善推進員協議会の

活

動

紹

介

八頭町食生活改善推進員協議会（会長 蓮佛昭子）は、郡家、船岡、八東支部の会員251名で組織し、「骨」リとろっカルシウム」を今年の活動目標に掲げて健康づくりの輪を広げていく活動を行ってきました。今年度の主な活動を紹介します。

## 鳥取支部研修会

鳥取県食生活改善推進員連絡協議会鳥取支部研修会を昨年10月21日に郡家保健センターで、鳥取県東部の



町の特産品を使った料理



町の特産品を紹介する推進員

各市町推進員代表34名が参加して開催しました。調理実習では「八頭町の特産品を使って」をテーマに、町内で生産されたホンモロコ、柿、米を使用し、「ホンモロコの玉ねぎサラダ」、「西条柿のムース」などを作りました。また、推進員が町の食材について紹介し、他市町の推進員から大変好評でした。

## 糖尿病予防のための料理講習会

近年、肥満や食生活の偏り、運動不足などが原因で、4人に1人が糖尿病とその予備軍といわれています。

そこで、糖尿病を予防するための料理講習会を、昨年11月26日に郡家保健センターで、28名が参加して行いました。

塩分や油を控えた調理実習を行い、「いわしのハーブパン粉焼き」、「根菜のカレー煮」などを作り、参加者からは「家で作るときも調味料の量を減らしたい」、「食べ過ぎないように気をつけたい」といった感想が聞かれました。

## 健康づくり教室

1月17日・19日・20日に、郡家、船岡、八東の保健センターで、推進員とともに一般の方も参加し、メタボリックシンドローム予防のための運動と調理実習を行いました。



寒い時期でも家で手軽にできる運動を講師から教わり、楽しく体を動かしました。その後の調理実習では、「鮭と豆乳のスパゲッティ」と「さつまいもとりんごのサラダ」の簡単で健康的な料理を調理しました。



健康づくり教室の様子

このほかにも推進員は食育アドバイザーとして各地域でいろいろな活動を行っています。今年度は船岡支部が長年の活動を認められ、厚生労働大臣表彰を受けました。これからも、地域で「食育の輪」を広げる活動を続けて行きたいと思えます。

みんなで支え愛

# 認知症講演会

## 日時

平成24年3月9日(金)  
午後2時～4時

## 会場 船岡公民館

## 内容 講演

「認知症の理解とよりよい対応  
～認知症になっても安心して暮らすために」

## 講師

鳥取大学大学院医学系研究科  
臨床心理学専攻講師

竹田 伸也 先生

みなさまの  
ご参加を  
お待ちしております。



## 受け忘れている予防接種はありませんか？

母子健康手帳をご確認いただき、受けていない予防接種がありましたら受けましょう。

下記の対象年齢以外で接種される方は有料となります。また、麻疹(はしか)風しん2期、3期、4期については、平成24年3月31日で接種期間が終了します。受け忘れのないようご注意ください。

### 定期・任意予防接種対象年齢(公費負担)

予防接種名	対象年齢	接種回数		
BCCG	生後3～6ヶ月未満	1回		
三種混合(ジフテリア、百日咳、破傷風)	生後3～90ヶ月未満	初回3回 追加1回		
麻しん 風しん	第1期	生後12～24ヶ月未満(1歳児)	1回	
	第2期	小学校就学前の年長児	平成24年 3月31日まで 有効	1回
	第3期	中学1年生に相当する年齢	1回	
	第4期	高校3年生に相当する年齢	1回	
二種混合(ジフテリア、破傷風)	11～13歳未満	1回		
ポリオ	生後3～90ヶ月未満	2回		
日本脳炎	第1期	3歳～16歳(平成7年6月1日以降に生まれた者)	初回2回 追加1回	
	第2期	9歳～16歳(平成7年6月1日以降に生まれた者)	1回	
子宮頸がん	中学1年生～3年生に相当する年齢の女子	3回		
インフルエンザ菌b型(ヒブ)	5歳未満	1～4回(接種開始年齢により回数が異なる)		
小児用肺炎球菌				

対象年齢内の方で接種券及び予診票を紛失された方、また、日本脳炎をご希望の方は最寄りの保健センターにお申し出ください。

子宮頸がん予防接種は、高校1年生に相当する年齢の女子に一部助成を行っています。(平成24年3月31日まで有効)

## 平成24年3月の保健事業

日	曜日	内容	時間	場所	対象
1	木	5歳児健診	12:50～	郡家保健センター	H19.2.11～H19.4.1生まれ
		水中運動教室	10:45～11:30	八東保健センター	一般
2	金	健康講座	14:30～15:30	郡家保健センター	一般
5	月	一般健康相談	9:30～10:30	八東保健センター	一般
6	火	ゆるやか体操教室	14:00～15:00	八東保健センター	一般
7	水	離乳食講習会	受付 9:15～9:30	郡家保健センター	H23.9.15～H23.11.21生まれ
8	木	水中運動教室	10:45～11:30	八東保健センター	一般
		ポリオ予防接種	受付 13:15～13:30	郡家保健センター	乳幼児
9	金	認知症講演会	14:00～16:00	船岡公民館	一般
12	月	一般健康相談	9:30～10:30	郡家保健センター	一般
		こころの健康相談	9:30～10:30	郡家保健センター	一般
13	火	ゆるやか体操教室	10:45～11:45	船岡保健センター	一般
14	水	さわやか体操教室	10:45～11:45	郡家保健センター	一般
15	木	水中運動教室	10:45～11:30	八東保健センター	一般
19	月	一般健康相談	9:30～10:30	船岡保健センター	一般
22	木	3歳児健診	受付 12:30～12:45	郡家保健センター	H21.1.16～H21.3.22生まれ
		水中運動教室	10:45～11:30	八東保健センター	一般
23	金	育児相談	13:30～15:30	郡家保健センター	乳幼児
27	火	ゆるやか体操教室	10:45～11:45	郡家保健センター	一般
		6か月児健診	受付 12:45～13:00	郡家保健センター	H23.8.11～H23.9.12生まれ

船岡文化センター  
73-0030

郡家隣保館  
72-2672

八東隣保館  
84-3496

# りんぽかん だより

八頭町  
第83号

## 郡家隣保館

### 平成24年度 事業のお知らせ

郡家隣保館は、地域に根ざした福祉の向上と人権のコミュニケーションセンターとして各種相談事業や教養文化活動、人権啓発活動を展開しています。

平成24年度に行う隣保館事業を紹介します。

#### 地域交流事業

〔習字教室〕

受講生一人ひとりにあわせて指導しています。

・開催日 毎週月曜日

午後5時30分から

・対象者 小学生以上

・持物 書道用具一式

\*半紙は、隣保館で準備していますが、有料です。

〔大正琴教室〕

楽しく和気あいあいと練習しています。

・開催日 毎月1回

午前10時から(1時間30分)

・対象者 大人

・参加費 300円/回

〔生花教室〕

心と家庭に潤いを、四季折々の季節感あふれるお花をみんなで楽しく生けていきます。

・開催日 毎月1回

午後7時30分から

(2時間)

・対象者 高校生以上

・持物 花器・剣山・ハサミ

・材料費 (900円程度)

#### 人権啓発事業

〔人権・同和問題講座〕

一人ひとりの人権が尊重されお互いを大切にし、差別解消に向けて実践できる人材育成を目的に年4回開催しています。

〔人権・同和問題講演会〕

同和問題とあらゆる人権問題の解決を図り、町民の人権意識の向上を目指して年1回開催しています。

#### 相談事業

地域住民に対し、生活上の相談等に対応するとともに、自立支援のため適切な助言・指導を行っています。

#### 地域福祉促進事業

〔出張隣保館〕

地域に出向き、講師を迎えて絵画教室や技能援助支援をしています。

レクリエーション・教養・文化活動等ほか地域住民の交流を図っています。

〔健康料理教室〕

食事の栄養指導と食を通して命の尊さを学ぶなど、講話と調理実習をしています。地域住民の生活・文化の向上を図っています。

各種教室・事業の実施を計画していますので、皆様の参加をお願い致します。詳しくは、郡家隣保館 (☎72-2672)まで

#### 児童館活動を紹介

宮城県南三陸町に建てられた児童館に応援メッセージと集合写真を届けました。



被災地にメッセージを



スキー交流で仲良くなったよ

2月12日、氷ノ山スキー場で若桜と岩美の子ども達とスキーで交流しました。

平成24年度  
各教室・事業のご案内！

《地域交流促進事業》

◎英語教室

☆「ハロー」「グッドバイ」  
簡単な英会話等を学習します。

・開催 毎月一回  
午後5時45分から  
(一時間30分程度)

・対象者 小学生  
・持ち物 筆記用具

※保護者で送迎をお願いします。

◎生花教室

☆心と家庭に潤いを！  
四季折々の季節感あふれるお花をみんなで楽しく生けます。

・開催 毎月一回  
午後7時30分から  
(2時間程度)

・対象者 高校生以上  
・持ち物 花器・剣山・ハサミ・材料費(900円程度)



◎書道教室

☆受講生一人一人にあわせて指導を行います。

・開催日 毎月二回  
午後7時30分から  
(2時間程度)

・対象者 高校生以上  
・持ち物 書道用具一式

《地域福祉事業》

◎創作・軽スポーツ教室

☆いろいろな事業を行い、交流を深めます。感性を豊かにし、教養・文化を高め、健康にも気を配ります。

《平成23年度実績》

- 笹巻き作り 4月
- さわやか健康体操 6月
- お焼き作り 7月
- 民話を聞く会 8月
- クラフトかご作り 9月
- グラウンドゴルフ 11月
- 門松作り 12月
- 講和会 2月
- 料理教室 3月
- 健康教室 3月



《相談事業》

☆生活上の相談・支援活動を行います。気軽に相談してください。

《人権学習会》

☆年3回人権について学習会を開催しています。参加して、毎日楽しく生きるために、人権感覚を磨きましょう。

《第3回学習会のご案内》

・平成24年3月17日(土)  
午前10時から 母娘(オヤコ)で問うた部落差別「部落の心をつたえたい」ビデオシリーズD3を出されました坂田かおりさんに講演をして頂きます。

母娘で取り組んで来られたことや現在取り組んでいることをお話して頂きます。

各種教室・事業の実施を計画していますので、皆さんの参加をお願いいたします。

詳しくは、船岡文化センター(☎7310030)まで

人権・同和教育研修会の開催について

2月12日(日)に保育所・小学校・中学校の保護者役員を対象にした人権・同和教育研修会を開催しました。

講師に鳥取県教育委員会事務局 人権教育課 武田基資さんをお迎えして「子育てで大切にしたいこと、人権の視点」と題して講演をして頂きました。

講師の方の日頃の子育てでうれしかったことから始まり、資料にある問いについて参加者自身が考え、その後、隣の方と意見交換し、発表する研修会でした。

「学校って何で行かなくちゃいけないの?」に対して子どもにどのように答えますか。」の問いについて「学校は楽しく、いろいろな事を教えてもらおう。素敵で立派な大人になる。」など、多数の意見が出ました。

また、「泣いた赤鬼の作文を読み、「泣いた赤鬼は、どのようなことを考えているか。」の問いについて「学校は楽しく、いろいろな事を教えてもらおう。素敵で立派な大人になる。」など、多数の意見が出ました。

開催について

たでしよう?子どもにどのように答えますか。」の問いについては、「対話・相手の立場を考えて多様な人々と豊かなつながりが必要であり、共に生きること。」など意見が出ました。

その後、教育基本法や、鳥取県人権尊重の社会づくり条例などの一部を説明しながら、自他の違いを認め、尊重する意識や、多様化する肯定的態度、人権の観点から自分自身の行為に責任を負う意志や態度が、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながると話されました。

「ありがとう、ごめんなさい。」と言える子どもに育てることが大切であり、また、失敗しても自分が必要であり肯定できる自尊感情を持つことが必要であると話されました。あらためて子どもの子育てについて考えさせられた研修会でした。

# 公民館だより

## 連絡先

郡家公民館 ☎72-3113  
 船岡公民館 ☎72-0085  
 八東公民館 ☎84-3001

## 郡家 公民館

### 子ども書き初め大会

1月6日(金)に子ども書き初め大会を郡家公民館で開催しました。当日は、小学生低学年から中学生まで幅広い参加者があり、書の上達を願い、書き初めを行いました。参加者は真剣に書き初めを行い、見事な文字を書き上げました。



### こどもシアター

★3月4日(日)  
 10:00～11:50  
 ◎劇場版名探偵コナン  
 「沈黙の15分」  
 フォーア  
 1通の脅迫状から始まる大事件にコナンたちが挑みます。

### 親子茶道教室

1月21日(土)に親子茶道教室を郡家公民館で開催しました。当日はまず、座り方、姿勢、あいさつの仕方などを学び、次に、菓子の取り方、お茶の立て方、お茶の飲み方など茶道の作法を体験しました。参加者は先生の話を聞きながら、一つ一つ作法を学び、普段なかなか体験する事のない、伝統文化の世界を感じ取っていました。



## 「八頭町スキー教室」開催



初心者クラスの参加者

2月11日(祝)わかさ氷ノ山スキー場で、3公民館共催による八頭町スキー教室を開催しました。

6回目の開催となるこの教室には、今年も各地域から28名の参加者があり、午前中は、初心者、初級者にわかれ講師の指導を熱心に受けました。

午後からは、フリー滑降で技術を実践体得するよう思い思いに頑張っていました。



郡家・船岡地域の初級者クラス



八東地域の初級者クラス

男のミシン教室を開催  
船岡地区公民館



男のミシン教室

2月7日(火)、船岡公民館で第1回目の教室を開催しました。高齢化社会の時代にあつて、衣食住での自立を目指すには、男女を問わず初歩的な各種技能の習得は不可欠であるとの趣旨で、ミシンを使った衣服の補修等の基礎的な技能を身に付けようと、おおむね65歳以上の男性を対象者に開催しました。講師に中尾収氏(隼郡家)をお招きし、7名の参加者がミシンの取り扱い方、針・糸についての説明を受けました。今後はアイロンの扱い方等、毎回内容を変えて5回開催する計画です。

「橋本興家版画展」  
開催のお知らせ

旧船岡町下町出身の橋本興家画伯(1899-1993)の木版画作品展を開催します。皆様お誘い合わせの上ご来館ください。

開催期日 3月17日(土) ~

3月26日(月)「日・祝日は閉館」

開館時間 午前9時~午後5時

展示場所 船岡公民館 展示室

入場料 無料

隼地区公民館主事  
異動のお知らせ



隼地区公民館  
主事 北村 正史

2月1日から隼地区公民館主事に北村正史さん(隼郡家)が就任されましたのでお知らせします。

こどもシアター

★3月17日(土)  
10:00~12:00  
◎トムとジェリー1~3  
◎ドラえもん  
新・のび太と鉄人兵団  
みんな目に来てね。

全員が  
来年度の入学を誓う  
八東公民館高齢者大学

八東公民館高齢者大学の最終学習会と閉校式が1月13日(金)、八東保健センターで開かれ、全学生が卒業して、来年度の再入学を誓いあいました。

毎年6月に開校して年8回(学習会や視察研修など)を開催、高齢者の交流の場となっている学習会です。



最終学習は1部「ねえよんでの会」の中嶋須美子さんの「昔話を聞く」と、2部がわらべ館童謡・唱歌推進員の田中直子さんの「童謡・唱歌を歌う」

でした。

1部は、餅は本尊、七草がゆのはじまり、笠地蔵のおんがえしの3話。方言をまじえての巧みな話術で、会場は笑顔と笑いの渦でした。

2部では、雪、スキー、みかんの花咲く丘、夕焼小焼など10曲を発声練習や身振りも教わりながら、口を大きく開けて、体が温かくなるほど熱の入った合唱が続きました。最後は「故郷」を全員で歌いその後、田中さんの独唱「フィガロの結婚」に魅了されました。

閉校式では、全回参加者25名に皆勤賞と記念品が贈られ、井尻昭運営委員長が「来年度もぜひ入学してください」と閉会宣言をしました。

こどもシアター

★3月11日(日)  
10:00~10:15  
◎きかんしゃトーマス  
10:15~11:55  
◎昆虫物語みつばちハッチ



歌唱指導を受ける生徒

# みんなの図書館(室)

郡家図書館 八頭町宮谷 256-4 ☎(0858)72-6660  
 船岡図書館 八頭町船岡 539-1 ☎(0858)72-3970  
 八東図書館 八頭町北山 48-1 ☎(0858)84-6622  
<http://library.town.yazu.tottori.jp/>  
 携帯電話からの本の検索・予約はこちら



## 船岡図書室 春休みおはなし会

### おはなしを楽しむ会

ゆったりと民話とおはなしを楽しみませんか。

**日時** 3月28日(水)

午後2時から2時40分

**場所** 船岡図書室子どもコーナー

**語り** 梶田美穂子さん

(とっとり民話を語る会)

船岡図書室司書

**内容** ○第1部：ストーリーテリング

語り：図書室司書

○第2部：鳥取の民話

語り：梶田美穂子さん

申込み・参加費不要。どなたでも参加できます。

## 春休み

### こども図書室クイズラリー

**期間** 3月30日(金)～4月8日(日)

**会場** 船岡図書室・八東図書室

図書室内のあちこちにクイズが用意されています。会場をまわってクイズに答えてね。

全問正解でプレゼントがもらえます。

皆さんふるって参加ください。

## 図書館の便利な使い方

予約(リクエスト)サービスをご利用のみならず、携帯電話かパソコンのメールアドレスを登録しませんか？

ご登録いただくと、予約した本が図書館に準備できた際にその旨を、メールで早く受け取ることができます。

メールアドレスの登録は、カウンターの職員にお尋ねください。

また、八頭町立図書館のホームページからでもメールアドレスの登録や変更ができます。

## 新しく入った本

\*他館所蔵のものはお取り寄せできます。  
 \*貸出中の場合はご予約ください。  
 (インターネットからも予約ができます)

### 郡家図書館

- |   |                    |         |
|---|--------------------|---------|
| 1 | 蝸ノ記                | 葉室 麟    |
| 2 | 小澤征爾さんと、音楽について話をする | 村上 春樹   |
| 3 | 本へのとびら             | 宮崎 駿    |
| 4 | 春から夏、やがて冬          | 歌野 晶午   |
| 5 | クレプスリー伝説 3         | ダレン・シャン |
| 6 | 走れ！T校バスケット部 7      | 松崎 洋    |

### 船岡図書室

- |   |               |          |
|---|---------------|----------|
| 1 | 傷痕            | 桜庭 一樹    |
| 2 | 二度はゆけぬ町の地図    | 西村 賢太    |
| 3 | 経営者・平清盛の失敗    | 山田 真哉    |
| 4 | 親のお金の守り方      | 北見久美子    |
| 5 | 塩麴と甘酒のおいしいレシピ | タカコ ナカムラ |
| 6 | シノダ！キツネたちの宮へ  | 富安 陽子    |

### 八東図書室

- |   |                   |            |
|---|-------------------|------------|
| 1 | 親鸞 激動篇 上・下        | 五木 寛之      |
| 2 | 道化師の蝶             | 円城 塔       |
| 3 | 種まきもせず            | 星野 富弘      |
| 4 | 食べて健康！タニタ式カラダのひみつ | 池田 義雄      |
| 5 | 炎路を行く者            | 上橋菜穂子      |
| 6 | しんせつなかかし          | ウェンディ イートン |

### 3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ 休館日 ■ **開館時間** 10:00～18:00

### おはなし会 ※申込不要・大人も入れます

	郡家図書館	船岡図書室	八東図書室
日にち	3月10日(土)	3月28日(水)	3月11日(日)
時間	10:30～11:00 15:30～16:00	14:00～14:40	15:00～15:30

# 「ありがとう」の言葉を伝えたい

人権教育推進員 松田 さつき



3月、卒業の季節。そして、誰もが忘れることのできないあの東日本大震災から1年を迎えます。

あの日を境にたくさんの方の別れや出会いがあったのではないのでしょうか。

そして、東北をはじめ日本中の人々が自分の存在、また家族や友達、自分が暮らしている地域の存在を深く考えるようになったのではないのでしょうか。

ここ最近、自分のことしか考えない時代だと言われてきましたが、震災をきっかけに同和教育で大切にしてきた、相手を笑顔にしたい、幸せにしたいという相手のことを思う姿がそこにはありました。

今もいたるところで「絆」を合言葉に様々な活動が続けられています。

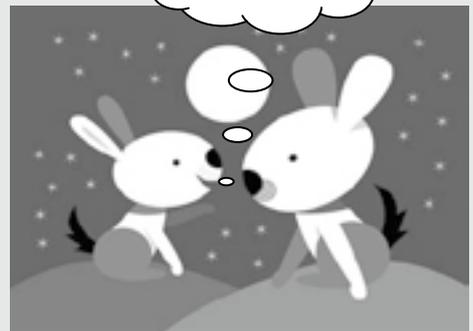


私も以前活動していた青年団で募金活動に参加しました。最初はなかなか声を出すことができませんでしたが、「自分の思いも届けてほしい」と多くの方に協力していただき、終わるころには、自然と声が出ている自分がいました。一人一人に丁寧に「ありがとうございました」と言うことができました。

普段は「ありがとう」という言葉を使うのは少し照れくさいときもありますが、自分で言っても気持ちがいいし、言われてもうれしい言葉だと思います。

それは協力してくださった方々の顔がとても優しく、温かく感じられたことからわかります。小さな活動だったかもしれませんが、人の温かさや「絆」をととても感じる事ができました。

また、私は人間関係で大切なことは大人であっても素直に泣ける関係をもつことだと思っています。その相手は、一人だけでもいいと思います。そして、その関係がもてるきっかけはどんな場面で出会うかわかりません。それが今日で、今がその瞬間



間かもしれません。

私も震災をきっかけに家族、友達存在について考えてみました。笑い合ったり、ケンカしたりというような本当に他愛のないことさえ、かけがえのない時間だということをお伝えされました。明日がくることを教えられました。明日がくるのがどんなに素晴らしいことであるか、かけがえのないことであるという事にあらためて気づきました。

家族がいてくれることの幸せ、地域が支えてくれることの幸せ、今生きていることの幸せをもっと大切にしたいと思いました。

そして「ありがとう」の言葉をたくさんの人に伝えたくまりました。かけがえのない命に、生まれてくれてありがとう。今生きていてくれてありがとう。

## ひとつの言葉

- ひとつの言葉で喧嘩して
- ひとつの言葉で仲直り
- ひとつの言葉で頭が下がり
- ひとつの言葉で笑い合う
- ひとつの言葉はそれぞれに
- ひとつの心を持っている
- きれいな言葉はきれいな心
- やさしい言葉はやさしい心
- ひとつの言葉を大切に
- ひとつの言葉を美しく



## 3月分から協会けんぽ鳥取支部の健康保険料率が変わります

現行  
9.48%



平成24年3月分～  
9.98%

40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)は、健康保険料率に介護保険料率1.55%が加わります。

協会けんぽ鳥取支部は、皆さまの健康保持・増進のための取り組み(健診・特定保健指導実施率の向上、現金給付適正化、ジェネリック医薬品の使用促進など医療費適正化等)を推進するとともに、国に対しさらなる国庫補助の増額などを求めてまいります。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

**問い合わせ** 協会けんぽ鳥取支部

担当：企画総務グループ

☎(0857)25-0051



## お知らせ

### 学校給食試食会のお知らせ

八頭町学校給食共同調理場が平成24年度から稼働します。

日頃、子どもたちが食べている給食を有料にて町民の方々に試食していただきたく「試食会」を次のとおり計画しています。

希望される方は、八頭町教育委員会事務局教育課(☎84-1231)に電話でお申し込みしてください。定員になり次第締め切ります。

月 日	定 員 等
4月16日(月)	定員：各30名(先着順)
4月17日(火)	費用：1人310円 (当日集金)
4月18日(水)	集合時間：12時30分
4月19日(木)	会場：八頭町学校給食共同調理場

## 労働相談会

「突然解雇された」「賃金が支払われない」等の労働関係の問題について、鳥取県・鳥取労働局・法テラス鳥取・鳥取県社労士会が合同相談会を行います。

**と き** 3月11日(日) 10:00~15:00

**と ころ** 県民ふれあい会館(鳥取市扇町)

**相談員** 弁護士、社会保険労務士、労働紛争調整官、労働・雇用相談員ほか

**予約・お問い合わせ先**

労使ネットとっとり ☎0120-77-6010

## 東部消防局からのお知らせ

東部消防局の次の電話番号が3月1日から変更になりました。お問い合わせ、ご相談の際は☎(0857)23-0119にお掛けください。

消防局代表番号 ☎(0857)23-0119

火災情報案内 ☎(0857)21-0119

## 春の全国火災予防運動

**3月1日(木)~3月7日(水)**

### 町内の観光地紹介 ⑱ ◆ 門尾三本松峠 ◆

八頭町観光マイスター  
栄田 秀之

八上郡門尾と法美郡禰宜谷の郡境の峠で、若桜往來の鳥取から若桜へ向かう最初の峠であり、鳥取へ向かう最後の峠です。道幅は約一間(1.8メートル)。若桜往來は、江戸時代から鳥取と若桜を結ぶ大切な道路でした。この道は、今でも門尾から峠まで昔のままの姿で残っています。

門尾と禰宜谷の峠の境に松の木が二本植えられ、その内の一本が二股になり三本に見えたので、三本松峠と呼ばれています。二代目・三代目の松が植えられましたが、枯れてしまいました。

峠には、多くの石碑があります。その一つに、力田安次郎の石碑がありました。安次郎の石碑は現在下門尾集会所に移設されていますが、台座はそのまま峠に残っています。

この峠の道はいつ頃出来たのか、はつきりしていません。

ひよつとしたら、時の国司、平時範もこの峠を越えて国府に入ったかもしれません。



ACTVやずチャンネル3月放送予定		
時 間	番 組	
6時	6:00	ケーブル屋お取り寄せ便
	6:30	「健康体操」
	6:45	旧作歴史街道「小野小町ゆかりの地」
7時	7:00	サイエンス番組…サイエンスフロンティア
	7:30	サイエンス番組…極限のクルマ技術
8時	8:00	八東保育所 エコレンジャー
	8:15	男のミシン教室
	8:30	八頭町成人式
	8:45	八頭町スキー教室
9時	9:00	丹比保育所 雪遊び
	9:15	サイエンス番組…怖いけど知りたい体の話
	9:30	八東公民館 高齢者大学 閉講式
	9:45	男のミシン教室
10時	10:00	カラオケ列車
	10:15	八東保育所 エコレンジャー
	10:30	丹比保育所 雪遊び
	10:45	青龍寺節分会
11時	11:00	八東公民館 高齢者大学 閉講式
	11:15	八頭町スキー教室
	11:30	八頭町成人式
	11:45	八東保育所 エコレンジャー
12時	12:00	カラオケ列車
	12:15	青龍寺節分会
	12:30	ケーブル屋お取り寄せ便
13時	13:00	サイエンス番組…サイエンスフロンティア
	13:30	サイエンス番組…安全安心の科学
14時	14:00	歴史街道「わたしたちの街の歴史と文化」
	14:15	関西三関王
	14:30	ケーブル屋お取り寄せ便
15時	15:00	青龍寺節分会
	15:15	八頭町スキー教室
	15:30	八東公民館 高齢者大学 閉講式
	15:45	丹比保育所 雪遊び
16時	16:00	サイエンス番組…極限のクルマ技術
	16:30	サイエンス番組…サイエンスフロンティア
17時	17:00	カラオケ列車
	17:15	サイエンス番組…空から見た日本
	17:30	ケーブル屋お取り寄せ便
18時	18:00	八頭町成人式
	18:15	男のミシン教室
	18:30	「健康体操」
	18:45	サイエンス番組…空から見た日本
19時	19:00	男のミシン教室
	19:15	八頭町成人式
	19:30	八頭町スキー教室
	19:45	カラオケ列車
20時	20:00	青龍寺節分会
	20:15	八東保育所 エコレンジャー
	20:30	丹比保育所 雪遊び
	20:45	八東公民館 高齢者大学 閉講式
21時	21:00	地域福祉計画町民フォーラム
22時	22:30	ケーブル屋お取り寄せ便
23時	23:00	サイエンス番組…怖いけど知りたい体の話
	23:15	歴史街道「わたしたちの街の歴史と文化」
	23:30	関西三関王
	23:45	放送終了

・内容は、随時更新されます。ご了承ください。  
 ・最新の内容は、テレビの電子番組表（テレビリモコンの「番組表」ボタンを押す）をご覧ください。

## 環境クリーンセンター 不燃物処理手数料の改定

平成24年4月1日から環境クリーンセンター（鳥取市伏野2220）へ直接不燃物を持ち込む場合の処理手数料が、改定となりますのでお知らせします。

**不燃物持ち込み重量10kgにつき、330円が360円に改定**

**問い合わせ先** 東部広域行政管理組合  
 事務局 生活環境課 ☎0857-26-0532

## 農地の売買・贈与・貸借には 許可が必要です

農地を耕作する目的で売買、贈与、貸借をする場合は、農業委員会の許可を受ける必要があります。

この許可を受けないで行った場合はその効力は生じず、紛争が生じた時も法的には救済されません。また、許可書のない所有権移転登記は法務局では受け付けてもらえません。

**許可基準はおおむね次のとおりです**

- 権利を取得する者が、耕作等を行うと認められること。
- 農作業に常時従事する者であること。
- 権利を取得した後の農地の合計面積が下限面積<sup>(※)</sup>以上であること。

※下限面積…農地又は採草放牧地の権利を取得した後の面積が農地法の規定による定められた面積（下限面積）以上であることが必要です。八頭町内では、区域によって下限面積が20a～50aに定められています。

詳細は農業委員会事務局（☎84-1227）へお尋ねください。

## 定例農業委員会の開催について

**開催日** 3月9日（金）午後1時30分～

**開催場所** 八頭町役場八東支所 第1会議室

**提出先・問合わせ先**

八東支所 農業委員会事務局 ☎84-1227  
 八頭町役場 産業観光課 ☎76-0208  
 船岡支所 産業建設課 ☎72-3973

申請書は、毎月25日までに提出してください。翌月の定例農業委員会で審議します。

## 町長交際費のお知らせ

平成23年10月から12月までの町長交際費は次のとおりでしたのでお知らせします。

◇支出内容 (円)

月	内 容	支出額
10月	上私都地区大運動会お祝い	3,780
〃	中私都地区大運動会お祝い	3,780
〃	下私都地区大運動会お祝い	3,780
〃	額縁 叙位・叙勲	30,125
11月	額縁 厚生労働大臣表彰	2,350
〃	株式会社一宮電機タイ工場洪水浸水お見舞い	100,000
〃	郡家地域慰霊祭お供え	3,780
〃	八東地域慰霊祭お供え	3,780
〃	東京鳥取県人会総会 慶祝名刺広告代	10,000
12月	広島鳥取県人会総会景品	5,000
〃	東京鳥取県人会総会景品	10,300
〃	障がい者生活支援施設竣工お祝い	3,780
〃	香典 (1件)	5,000

香典、花輪については、「八頭町弔事に関する要綱」(平成17年3月31日告示第2号)によるものです。

## 毎月8・18・28日は「やすっこの日」

大人も子どもも声を掛けあい、元気のいいあいさつをしましょう。

## 入札結果

入札日	平成24年1月20日
工事名	町道ホウキ線災害復旧工事
工事場所	八頭町久能寺
所管課	建設課
落札金額	37,527,000円 (税込み)
落札業者	東洋建設・松田組特定建設工事共同企業体

入札日	平成24年1月20日
工事名	船岡多目的グラウンド進入路法面災害復旧工事
工事場所	八頭町坂田
所管課	建設課
落札金額	21,000,000円 (税込み)
落札業者	こおげ建設株式会社

## 電源立地地域対策交付金で整備

電源立地地域対策交付金は、発電用施設の立地地域・周辺地域で行われる公共用施設設備等の事業に対して交付されるものです。

平成23年度は、生活基盤の整備を図るため、次の2事業を実施しました。

長瀬用水路改良工事(八頭町安井宿地内)

総事業費 2,856千円 事業内容 水路改修

南地区排水路改良工事(八頭町南地内)

総事業費 2,652千円 事業内容 水路改修

## 墓石・灯籠・記念碑・石工事一式 (有)花原石材店

八頭郡八頭町隼郡家226-1

工場 TEL 72-3178 (FAX兼)

自宅 TEL 72-0184 (FAX兼)

ご先祖様のご供養に、心をこめたお墓づくりのお手伝い。



3/1(木) ▶ 4/15(日)

春彩さい

~HARU SAISAI~

日帰り

会席プラン ◆ さくら 7,600円  
(室料・入浴料・税・サービス)

◆ すみれ 6,400円 ◆ わかば 5,200円

〒682-0122 三朝町山田180番地  
TEL 0858-43-0828

三朝温泉 溪泉閣

溪泉閣 | 検索

お仏壇の専門店

## (有)鈴木仏光堂

各宗仏壇・仏具・位牌・念珠・掛軸・線香・ローソク・盆ちょうちん

お仏壇の修理・洗濯を承ります

八頭郡八頭町坂田4-2 ☎(0858) 72-0254  
本店/船岡中学校近く 展示場/船岡小学校向い

## 会館葬・自宅葬

年中無休 フリーダイヤル  
24時間受付 0120-72-0004

ギフト・生花・花輪・料理・仏具・霊柩車

バンダイ 郡家店

JB ジョイフル やす

八頭町奥谷141-1 TEL 72-0004

八頭町下坂487-1 TEL 73-0444

有  
料  
告

**ひとのうごき** 平成24年2月15日届出現在 (敬称略)

おめでた	誕生日	名前	ところ	おとうさん・おかあさん
	1月11日	岡本 七海 (ななみ)	(若葉)	達郎・祐子
	13日	竹本 星菜 (せな)	(花原)	寅彦・美希
	17日	谷口 瑚呼 (こ)	(坂田)	隆司・真理子
	18日	表 実緒 (みお)	(横田)	裕輔・千鶴香
	20日	花木結愛乃 (ゆめの)	(才代)	賢・麻衣
	23日	藤田 真白 (ましろ)	(桜ヶ丘)	昌史・由美
	27日	亀井 茉菜 (まな)	(南ヶ丘)	大輔・晃子
	31日	田中 桃子 (ももこ)	(堀越)	雅士・彩美
	2月2日	大村かりん	(富枝)	卓也・忍
	6日	大西 蓮悠 (れんじゅ)	(上野)	貞如・悦子
	7日	西村 颯祐 (そうすけ)	(郡家西区)	誠一郎・陽子
	11日	山根 舞大 (まいろ)	(かーサこば)	清徳・美穂

おくやみ	日付	名前	ところ	年齢
	1月5日	岡垣 清子	(別府)	56歳
	16日	中川 竹治	(隼郡家)	91歳
	17日	後藤 輝之	(上町)	80歳
	23日	横山 節夫	(重枝)	105歳
	24日	西山日出壽	(棘塚)	51歳
	26日	山根すゞ子	(西谷)	95歳
	26日	加藤 玉枝	(皆原)	90歳
	27日	植田日出子	(日下部)	78歳
	28日	澤田 住子	(富枝)	95歳
	28日	森本 繁幸	(上野上)	78歳
	28日	小林 峰子	(日田)	63歳
	29日	井上美根子	(万代寺)	64歳
	30日	林 憲司	(下野)	82歳
	2月3日	山本 稔	(米岡)	82歳
	4日	田中貴美恵	(野町)	86歳
	5日	小澤 正子	(坂町)	82歳
	7日	平井 嗣夫	(稲荷)	81歳
	8日	西川 富男	(大江)	80歳
	9日	濱野 正子	(郡家西区)	98歳
	10日	川上 健治	(上峰寺)	82歳
	11日	岸本 繁嘉	(稲荷)	65歳
	15日	入江 富夫	(山志谷)	95歳
	15日	山根 定男	(志谷)	83歳

**因幡霊場の休場日**

3月の休場日は17日(土)です。  
詳しくは、因幡霊場 (☎0857-51-8320) へ

八頭町の 世帯数と人口	世帯数	5,941 世帯 (+2)
	総人口	18,891 人 (-18)
	男	9,142 人 (-3)
	女	9,749 人 (-15)

2月1日現在  
( )内は前月比

**弁護士による「女性のためのなんでも相談」**

女性の抱えるさまざまな問題 (DV・遺産相続・年金問題・夫婦問題等) の解決のために弁護士が無料で相談に応じます。

**日時** 4月6日(金) 13:30~16:30

**会場・申込先** 八頭町男女共同参画センター

「かがやき」 ☎84-2361

※事前予約制、先着4名 (1人45分程度)

**総合相談 (人権・行政・心配事)**

人権擁護委員、行政相談委員などが無料で相談をお受けします。秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

**日時** 3月12日(月) 13:30~16:00

**会場** 郡家・船岡・丹比地区公民館の3カ所

**問い合わせ先** 人権推進課 ☎72-3976

**多重債務・ヤミ金融等相談会**

弁護士や司法書士等の法律専門家による、無料の面接相談。事前に予約が必要です。

**日時** 3月21日(水) 13:30~16:00

**会場** 鳥取県庁

**申し込み** 鳥取県消費生活センター

**問い合わせ先** ☎0857-26-7605

**行政書士会無料相談**

相続・遺言、成年後見、交通事故後遺障害等級認定等の手続きなど (行政書士対応)

**日時** 3月10日(土) 10:30~15:00

※当日受付、先着順

**会場** 県立図書館2階 小研修室

**問い合わせ先** 鳥取県行政書士会事務局

☎0857-24-2744

**所得税・住民税の確定申告は、**

**3月15日(木)まで**

**毎月10日は**

**「ノーレジ袋デー」です**

男女共同参画啓発シリーズ⑦⑩

ランドセルは何色？

ランドセルというと昔前までは男の子は黒で、女の子は赤となぜか相場が決まっていたが、10数年前に登場した「選べる24色カラーランドセル」の発売で、ランドセル事情が大きく変化しました。

平成23年度のある調査結果では、新入生が購入したランドセルの色は、男児は黒が57%、青が34%で、女児はピンクが50%、赤22.5%、青12%という結果だったということです。この、カラーランドセルの発売当初は『人と違うといじめの対象になるのではないかと赤・黒以外の購入を心配する親御さんもいたそうですが、今ではすっかり定着したそうです。

このランドセルの色のように、「決まりではないのに、決まりのようになって、いつしかそれに縛られて、自由に選択できなくなっている」ことが私たちの生活の中にまだまだ残っているのではないのでしょうか。

一つの突破口を開けることによって、広く多様な選択が可能となる社会へとつながっていきます。男女共同参画社会も、心の中のランドセルカラーから解放されることが第一歩といえます。



敬老会の開催日について

平成24年度敬老会を下記のとおり予定しています。対象者は、昭和13年4月1日以前に生まれた方です。

詳細は、別途通知します。

船岡地域（各地区ごと） 4月15日(日)

郡家地域（各地区ごと） 4月22日(日)

八東地域（地域一括） 4月22日(日)

春休みロードショー

あの名作「カンフーパンダ2」が八頭町にやってくる!!

「僕が世界を救うんだ!」

『家康の絆』に感涙必至の傑作エンタテイメント。



カンフーパンダ2

無料  
★小学生以下の方は、保護者同伴でおいでください。

3月25日(日) 10:00~11:45  
八東体育文化センター

2012 DreamWorks Animation LLC. All Rights Reserved.

主催：「母親サロン」実行委員会・「父親の育児講座」実行委員会・八頭町

問い合わせ先 八頭町男女共同参画センター

TEL.(0858)84-2361 FAX.(0858)84-2362



再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用し印刷しています